



平成 29 年度版

あいち観光戦略に基づく 観光振興施策の実施状況

(平成 28 年度年次報告書)

本書は、愛知県観光振興基本条例第9条第6項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の平成28年度の実施状況に関する報告を行うものです。

目 次

あいち観光戦略の概要	1
1 数値目標の達成状況	3
(1) 来県者数.....	4
(2) 観光消費額.....	5
(3) 滞在日数.....	6
(4) 国際会議開催件数.....	7
(5) 満足度(「非常に満足」の割合).....	8
(6) 観光地としての魅力度(「魅力がある」の割合).....	9
2 平成 28 年度の観光振興施策の実施状況	10
戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化.....	10
戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進.....	15
戦略Ⅲ 観光交流拠点としての機能強化.....	27
戦略Ⅳ MICE・スポーツ大会を通じた誘客推進.....	29
戦略Ⅴ 戦略的な観光ひとづくり.....	34
戦略Ⅵ 民間活力の活用.....	36
3 平成 29 年度の主要な観光振興施策	38
戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化.....	38
戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進.....	39
戦略Ⅲ 観光交流拠点としての機能強化.....	41
戦略Ⅳ MICE・スポーツ大会を通じた誘客推進.....	41
戦略Ⅴ 戦略的な観光ひとづくり.....	43
戦略Ⅵ 民間活力の活用.....	44
(参考)あいち観光戦略推進委員会.....	45

1. 策定の趣旨等

本県では、平成22(2010)年度から27(2015)年度までを計画期間とする「愛知県観光振興基本計画」を策定し、各種施策に取り国の動向や社会・経済情勢の変化を踏まえた「あいち観光戦略」を策定します。この戦略は、観光を本県の新たな戦略産業と位置的なプロジェクトを盛り込んだアクション・プログラムとなっています。

3. 目指す姿（何をを目指すのか）

発見、感動、伝えたい観光県－あいち

本県の楽しいコト、驚くコト、おいしいコトを発見し、感動することで、
全国・世界の人々に伝えたい観光県を目指します。

5. 戦略とプロジェクト（何ををもって目指すのか）

戦略Ⅰ

訪日外客誘致に向けた プロモーションと 受入態勢の強化

“Heart” of JAPAN
-Technology & Tradition

増加を続ける訪日外客を確実に取り込むために、PRと受入態勢を強化し、満足度の向上を図る。

【重点プロジェクト】

情報発信の充実・強化

海外観光説明会・商談会開催

海外プロモーション実施

【その他のプロジェクト】

- アジアを重視した誘客促進と受入環境の整備促進
- 駐日外国公館・外国政府観光局・海外メディアとの連携
- 伊勢志摩サミットを活用した魅力発信
- 訪日教育旅行の誘致・受入
- インターネット環境の利便性向上
- 観光案内所・案内看板・観光施設の多言語対応
- 免税店・ナイト観光の充実

戦略Ⅱ

観光資源の充実と ブランド化の推進

～モノスゴ愛知で待つ県～

観光資源の発掘・磨き上げを行うとともに、本県らしいテーマ観光等を戦略的にPRし、本県の観光のブランド化を図る。

【重点プロジェクト】

武将観光・産業観光の推進

戦国武将やゆかりの史跡、忍者等を生かした武将観光の推進

武将観光イベントの開催

あいち航空ミュージアム(仮称)の整備

伝統・文化に触れる観光の推進

山車まつり・文化のPR・プロモーション

グルメ・食文化のブランド化

「なごやめし」の普及促進

着地型観光の推進

着地型観光の商品化支援

情報発信の充実・強化

首都圏等における情報発信・プロモーション

【その他のプロジェクト】

- 映画・ドラマ等のロケ支援及びロケーション資源の活用
- ポップカルチャー観光の推進
- 山村・離島の観光振興
- 街道観光の推進
- 酒蔵を生かしたツーリズムの推進
- 観光施設の整備等への支援
- 学習施設を活用した環境観光の推進
- 自然公園の活用
- 県営都市公園の活用
- 観光統計の整備

戦略Ⅲ

観光交流拠点県 としての機能強化

良好なアクセス環境を生かして観光交流拠点としての機能を強化するとともに、観光客の安心・安全の確保を図る。

【重点プロジェクト】

広域観光の推進

昇龍道プロジェクトの推進

産業観光周遊バスの運行

【その他のプロジェクト】

- 航空路線・クルーズ船の誘致促進
- 道の駅を活用した観光振興
- 交通拠点発の二次交通及び観光周遊コースの充実
- 観光力につながる道路整備
- 自然災害発生時等における旅行者の安心・安全の確保

来 県 者 数	全体(平成26年)	3,817万人 ▶ 5,000万人
	外国人(平成26年)	123万人 ▶ 400万人

観 光 消 費 額	全体(平成26年)	7,270億円 ▶ 1兆円
	外国人(平成26年)	798億円 ▶ 2,500億円

滞 在 日 数	全体(平成26年)	1.29泊 ▶ 1.7泊
	外国人(平成26年)	1.44泊 ▶ 2.0泊

戦略の概要

2. 計画期間

組んできました。このたび、同計画の期間満了に伴い、最新の付けた「あいち観光元年」宣言を受けて、県が取り組むべき具

平成 28(2016)年度～平成 32(2020)年度 (5 年間)

4. 基本的な視点 (どのように目指すのか)

戦略的な情報発信

本県の特徴を生かしたブランド化やターゲットの明確化、ニーズの把握等を行い、国内外に向けて戦略的かつ効果的に PR し、観光県「あいち」の魅力を伝えます。

幅広い県民参加

個人、学校、企業、団体など、様々なフィールドで、県民自身が本県の歴史・文化や自然、食などの魅力を再発見し、誇りを持って、観光県「あいち」の魅力を伝えていきます。

重点・牽引型

総花的・底上げ型ではなく、本県らしい魅力あるテーマに沿って重点事業を定め、磨き上げを行うことで、伝えたい観光県「あいち」を実現します。

戦略 IV

MICE・スポーツ大会を通じた誘客推進

MICE・スポーツ大会の誘致・開催等を推進するとともに、受入環境を整備することで、本県の交流人口の増大を図る。

【重点プロジェクト】 MICE の誘致

MICE 誘致のための PR・プロモーション

受入環境の整備

大規模展示場の整備に向けた取組

スポーツ大会の招致・育成

ラグビーワールドカップ 2019 の開催支援

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致及び合宿誘致

FIFA フットサルワールドカップ 2020 の招致と開催支援

アジア競技大会などの国際的スポーツ大会の招致検討

【その他のプロジェクト】

- 愛知芸術文化センターを活用した誘客
- 県内で開催される大規模催事・展示会等の PR

戦略 V

戦略的な観光ひとづくり

県民や企業、学校等を巻き込んで観光を盛り上げ、観光人材の裾野を広げるとともに、キーパーソンを育成する。

【重点プロジェクト】 観光人材の育成 学校との連携・協働

地域自らによる 観光マネジメント力の強化

日本版 DMO^{*}の推進

【その他のプロジェクト】

- 観光ボランティアガイド等を通じた県民によるおもてなしの向上
- 県民による魅力再発見の推進
- 大学等の専門知識の活用

*Destination Management / Marketing Organization の略。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの推進役。

戦略 VI

民間活力の活用

民間主導のプロジェクトと連携したり、大学・企業などと連携して、資源の磨き上げや PR などを行う。

【重点プロジェクト】 観光関連事業者との 連携強化

【その他のプロジェクト】

- 企業、NPO、市民活動、大学、留学生などとの連携・協働
- 有料道路コンセッションを通じた観光振興
- 県営都市公園における民間活力を活用した新たな魅力の創出

国際会議開催件数

(平成 26 年)

179 件 ▶ 200 件

満足度

全体(平成 26 年)

19.6% ▶ 30.0%

外国人(平成 27 年)

39.6% ▶ 50.0%

観光地としての魅力度

全体(平成 27 年 4-9 月)

69.7% ▶ 80.0%

県民(平成 27 年 4-9 月)

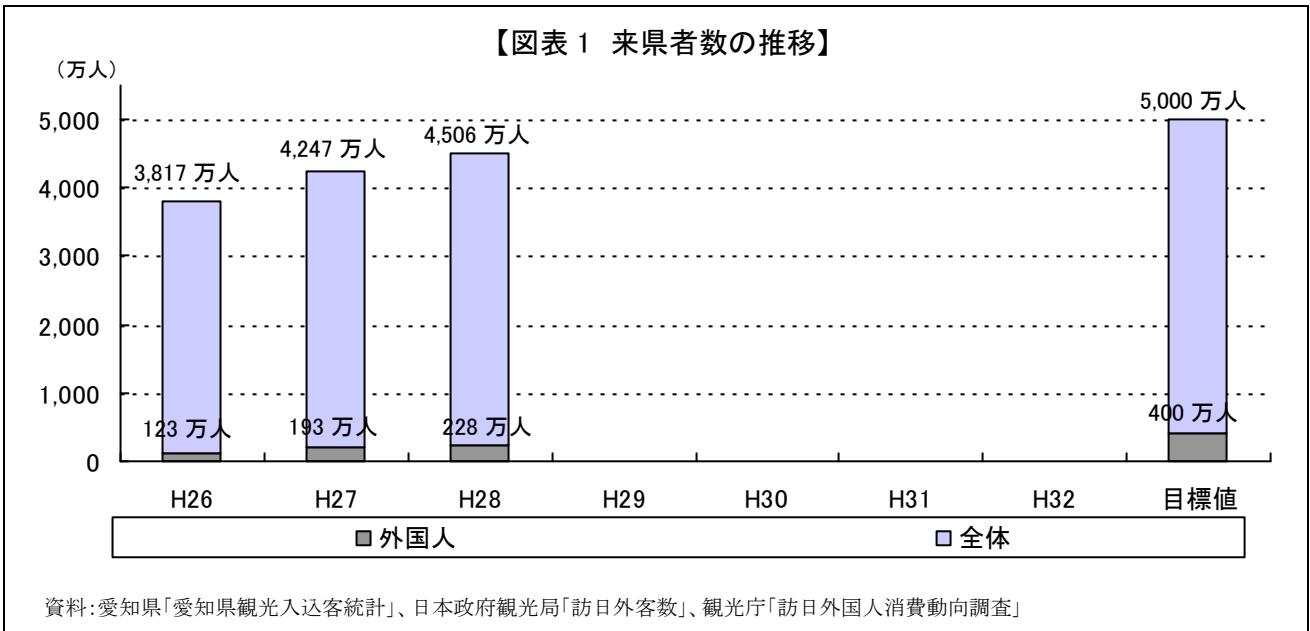
66.3% ▶ 80.0%

1 数値目標の達成状況

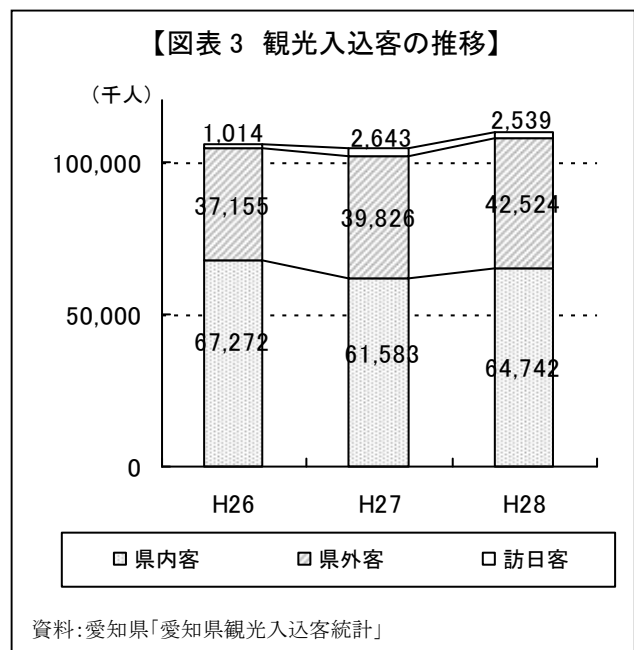
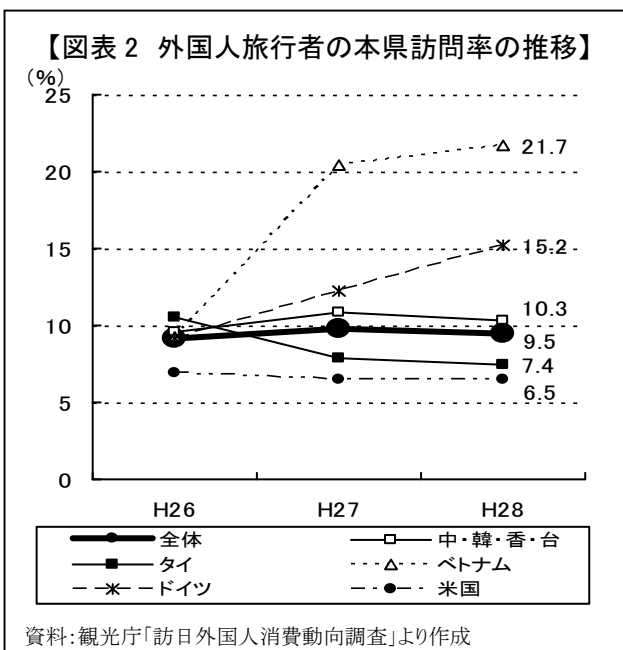
あいち観光戦略において、計画最終年度(平成 32 年度)の目標として掲げた指標に対する達成状況は、下表のとおりであった。

		計 画 当 初	平 成 2 8 年 (実 績)	目 標 値 (平 成 3 2 年)
来 県 者 数	全 体	3,817 万人 (平成 26 年)	4,506 万人	5,000 万人
	外 国 人	123 万人 (平成 26 年)	228 万人	400 万人
観 光 消 費 額	全 体	7,270 億円 (平成 26 年)	8,320 億円	1 兆円
	外 国 人	798 億円 (平成 26 年)	675 億円	2,500 億円
滞 在 日 数	全 体	1.29 泊 (平成 26 年)	1.28 泊	1.70 泊
	外 国 人	1.44 泊 (平成 26 年)	1.30 泊	2.00 泊
国際会議開催件数	—	179 件 (平成 26 年)	187 件 (平成 27 年)	200 件
満 足 度 (「非常に満足」の割合)	全 体	19.6% (平成 26 年)	21.7%	30.0%
	外 国 人	39.6% (平成 27 年)	40.8%	50.0%
観光地としての魅力度 (「魅力がある」の割合)	全 体	69.7% (平成 27 年 4-9 月)	74.9%	80.0%
	県 民	66.3% (平成 27 年 4-9 月)	71.4%	80.0%

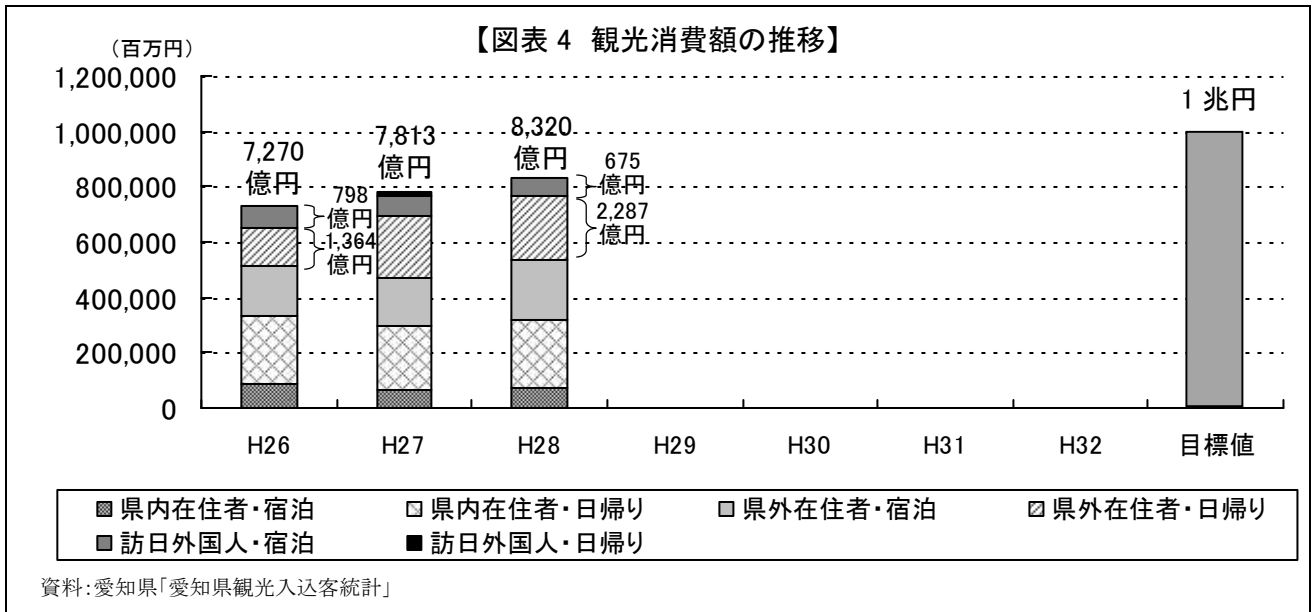
(1) 来県者数



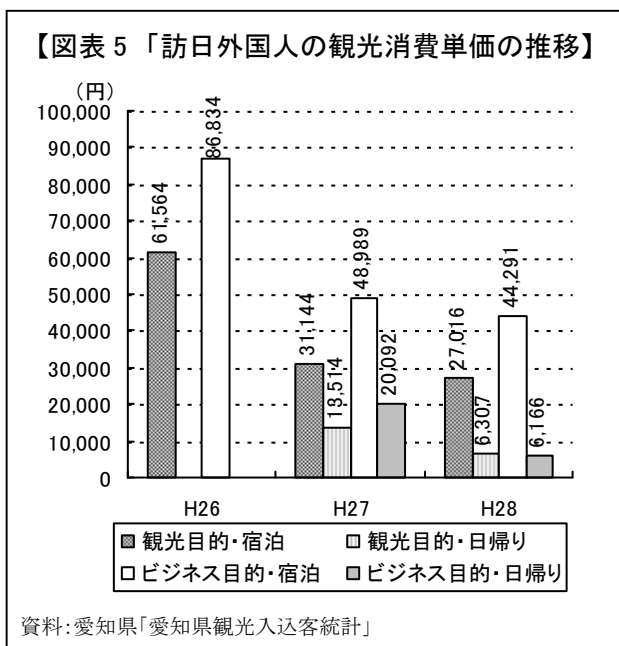
- 来県者数は、計画当初(平成26年)と比較して、全体が3,817万人から4,506万人、外国人が123万人から228万人となり、ともに増加した。
- 伸び率は全体が118.0%、外国人が185.4%で、全体に占める外国人の割合は、計画当初(平成26年)の3.22%から5.06%へと上昇した。
- 外国人旅行者の本県訪問率の推移(図表2)を見ると、全体及び東アジア4か国・地域(中国・韓国・香港・台湾)などは横ばいだが、ベトナムやドイツは大きく伸びている。
- なお、観光入込客数の出発地別推移(図表3)を見ると、計画当初(平成26年)との比較で、県内客は減少、県外客及び訪日客は増加しており、全入込客数に占める県内客以外の客(県外客・訪日客の合計)は36.2%から41.0%へと上昇した。



(2) 観光消費額



- 観光消費額は、計画当初(平成26年)の7,270億円から8,320億円へと114.4%の増加となった。
- 最も大きく伸びたのは、県外在住の日帰り客で、1,364億円から2,287億円へと1.68倍となった。この層は、人数、単価ともに伸びている。
- 外国人は、798億円から675億円と約15%の減少となった。客数は増えているものの客単価の下落が続いており、総額の減少につながっている。特に、観光目的・宿泊の客単価は、61,564円から27,016円へと56.1%、ビジネス目的・宿泊の客単価は、86,834円から44,291円へと49.0%の下落となった。
- 観光消費額の全国比較(23都道県)では、本県は3位に位置している。

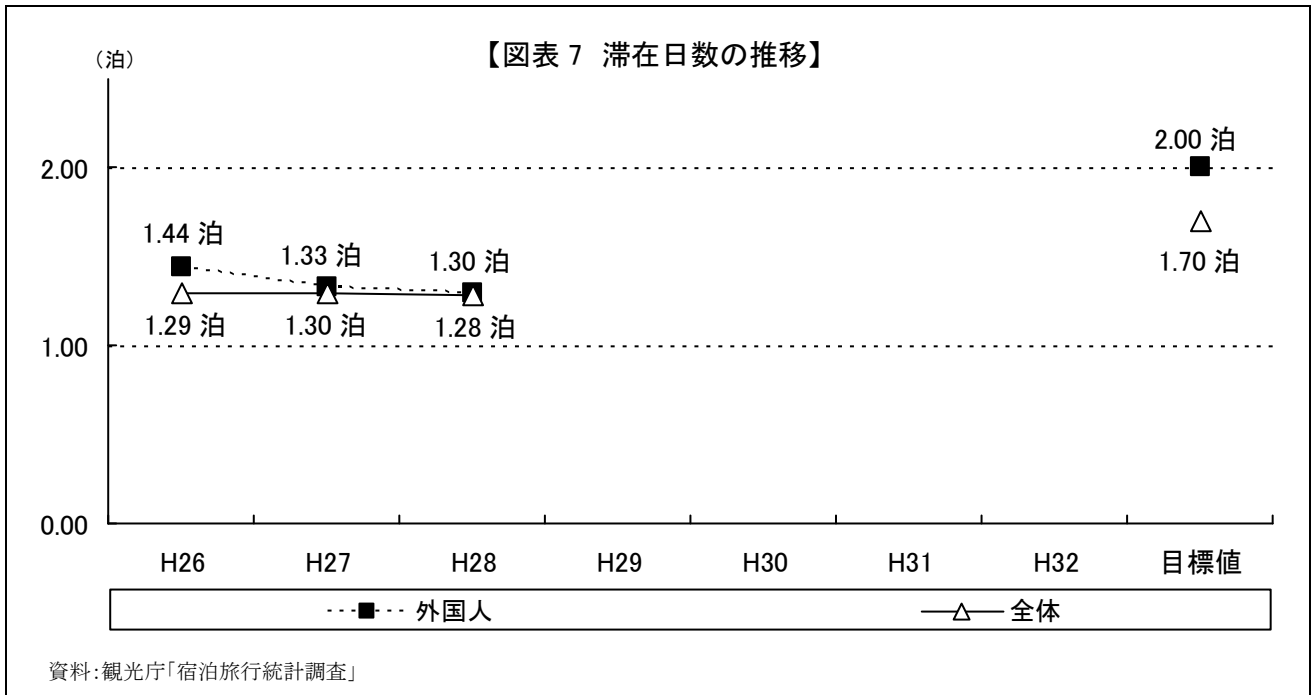


【図表6 観光消費額の全国比較(平成28年)】
(23都道県集計時点)

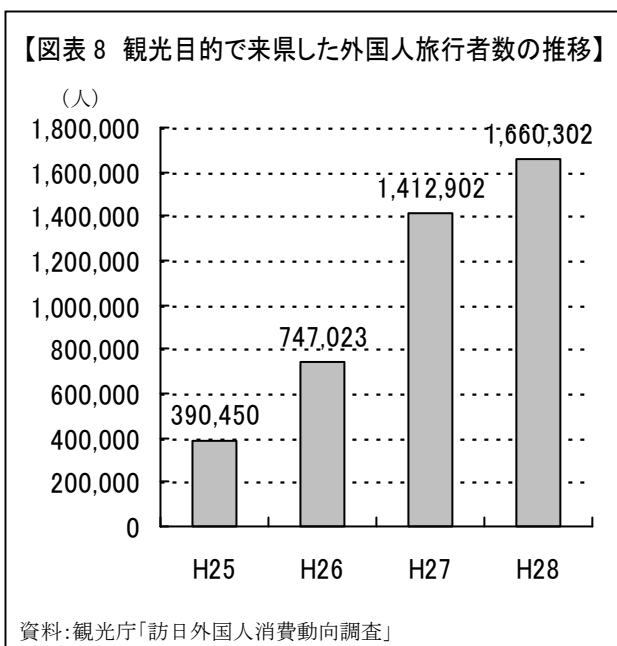
順位	都道府県名	観光消費額(百万円)
1	東京都	5,689,754
2	北海道	1,003,823
3	愛知県	832,041
4	長野県	731,953
5	栃木県	619,471
6	兵庫県	515,453
7	三重県	489,737
8	山梨県	415,663
9	広島県	294,409
10	茨城県	273,070

資料:観光庁「全国観光入込客統計のとりまとめ」

(3) 滞在日数



- 本県内での滞在日数は、外国人が減少傾向、全体が横ばい傾向となった。
- 外国人が減少傾向となったのは、観光目的で訪日した外国人のうち、本県を訪れる人の数が増加傾向(図表 8)にある一方、観光目的客の平均泊数はビジネス目的客に比べて半分から1/3 以下(図表 9)であるため、全体として外国人の平均滞在日数を押し下げることになったと推測される。
- 一方、国内客は、平成 26 年:1.28 泊→平成 27 年:1.30 泊→平成 28 年:1.27 泊と推移しており、宿泊客全体のおよそ 9 割を占める国内客が全体の傾向に影響していることがうかがえる。

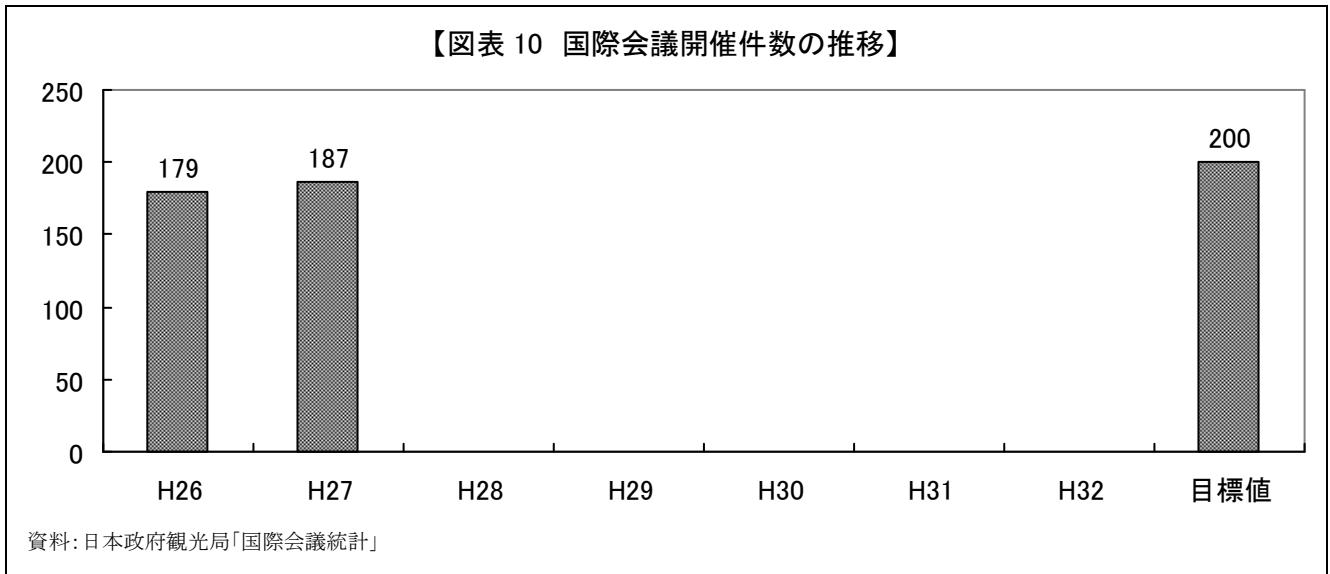


【図表 9 訪日目的別平均泊数】

目的	区分	H26	H27	H28
観光	全国	6.1 泊	5.9 泊	6.0 泊
	中部 IN	6.3 泊	5.6 泊	5.7 泊
	中部 OUT	6.6 泊	5.3 泊	5.5 泊
業務	全国	12.4 泊	13.3 泊	14.0 泊
	中部 IN	12.8 泊	16.9 泊	14.4 泊
	中部 OUT	13.7 泊	18.5 泊	16.3 泊

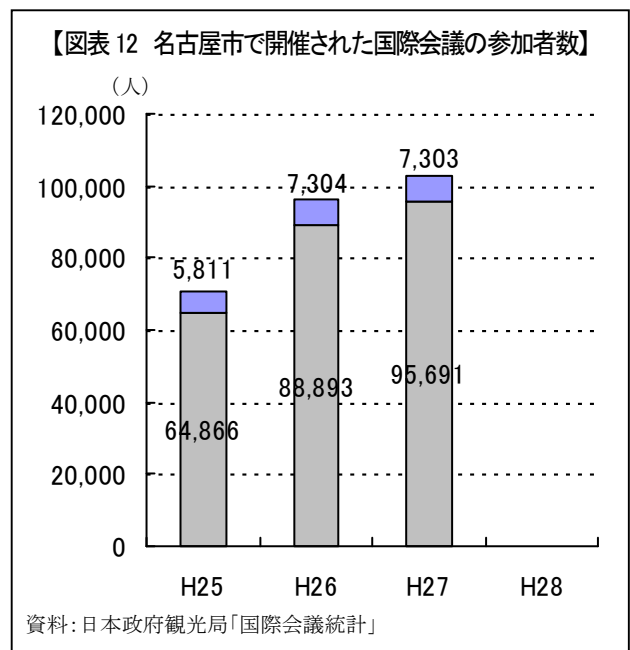
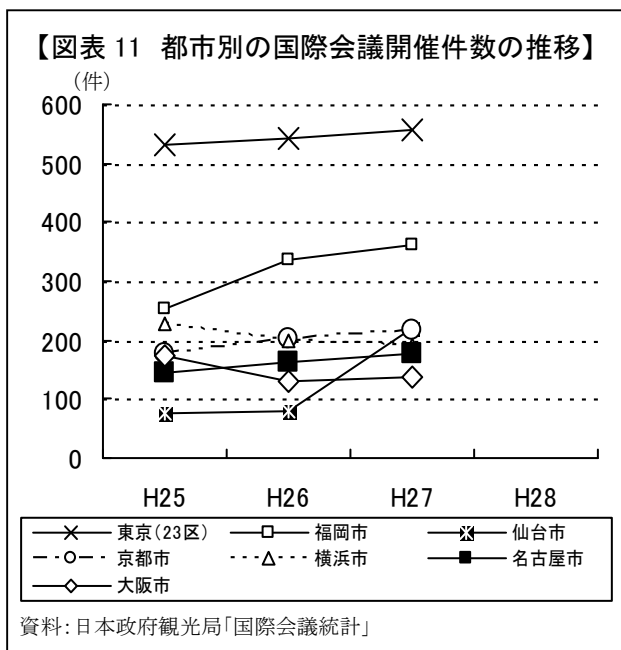
資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

(4) 国際会議(*)開催件数

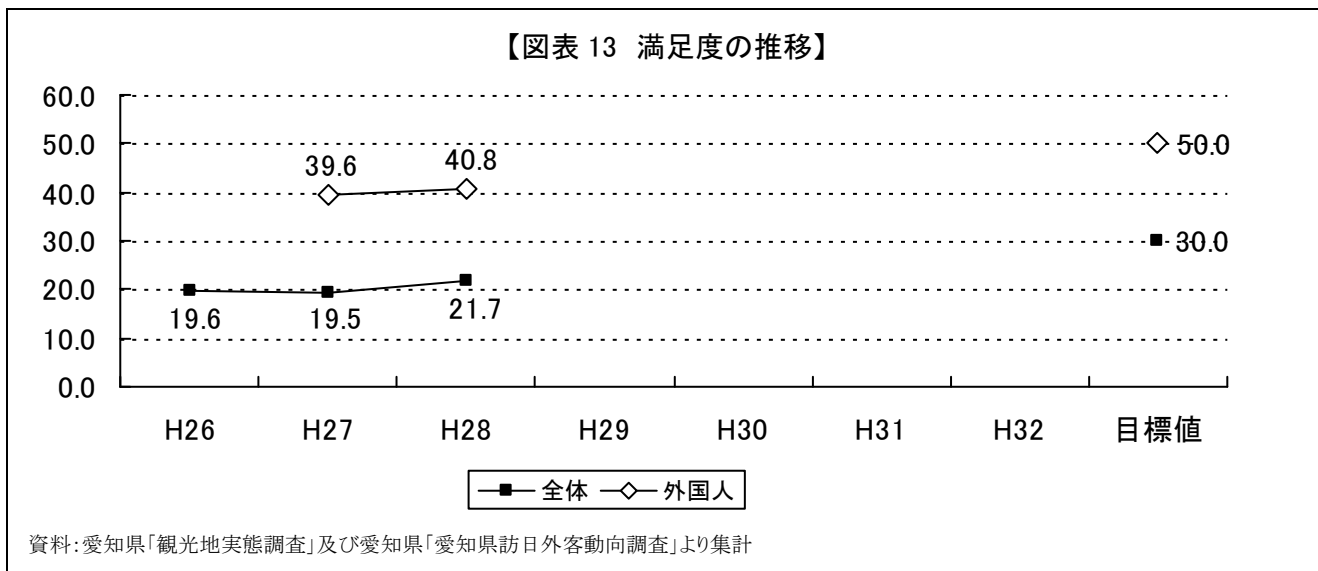


* 国際会議とは、国際機関・国際団体または国家機関・国内団体(民間企業を除く)が主催する。参加者総数が50名以上、参加国が3か国以上の会議(JNTO「国際会議選定基準」)。

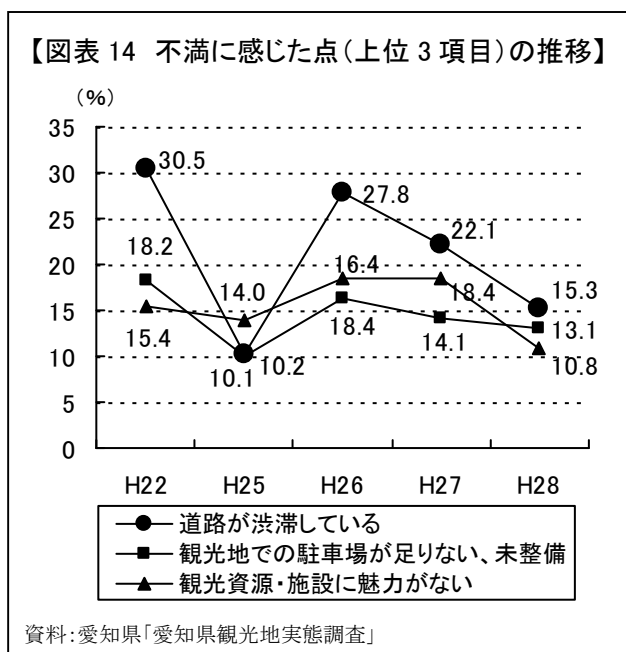
- 本県内で開催された国際会議は、本書作成時に得られる最新データ(平成27年)では187件となった。
- 都市別の開催件数の推移では、本県で最も多く開催されている名古屋市が着実に件数を伸ばしているものの、他の多くの都市も伸ばしており、名古屋市の順位に大きな変動が見られなかった。
- また、参加者数も着実に伸びており、平成27年は10万人を突破している。



(5) 満足度（「非常に満足」の割合）



- 満足度は、計画当初(平成 26 年)と比較して、全体が 19.6%から 21.7%、外国人が 39.6%から 40.8%となり、ともに向上した。
- 全体の満足度調査において、不満に感じた点の上位 3 項目は平成 26 年から低下を続けており、これが満足度の向上につながったと推測される。
- 外国人については、平成 28 年調査において、不満に感じた点の上位 10 項目の多くが前年比で改善しており、特に「フリーWi-Fi スポットが少ない」については、不満に感じた割合を大きく減らしている。ただし、平成 28 年に新設した「フリーWi-Fi の通信環境が悪い」の項目が 21.0%に上り、量だけでなく質の向上も求められていることがわかる。



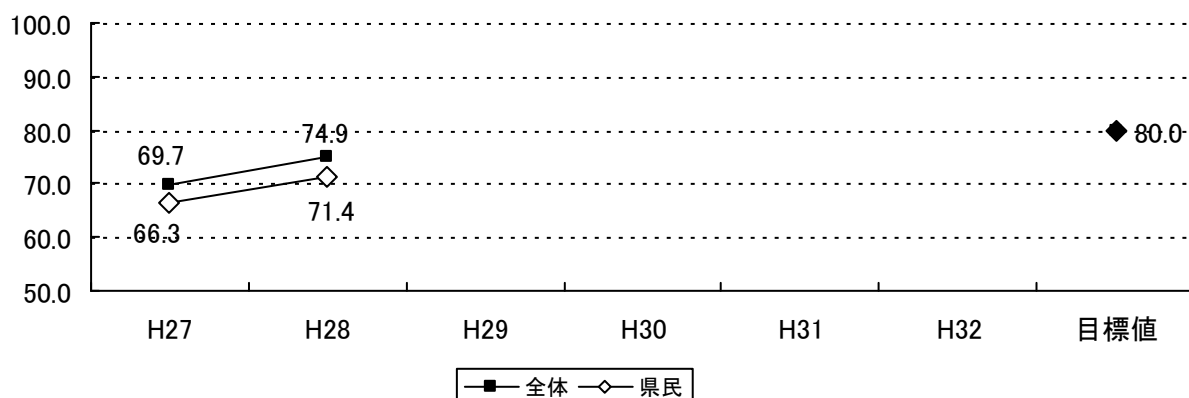
【図表 15 外国人が不満に感じた点(上位 10 項目)】

不満の内容	H27 (%)	H28 (%)
フリーWi-Fi スポットが少ない	43.1	28.4
コミュニケーションが取りづらい	27.4	26.2
フリーWi-Fi の通信環境が悪い	—	21.0
飲食費が高い	7.5	11.6
夜間に楽しめる場所が少ない	12.2	10.8
通訳ガイドが充実していない	11.5	9.4
宿泊費が高い	7.7	8.3
交通機関等の案内表示がわかりにくい	10.8	7.6
免税店が少ない	7.7	7.3
観光案内所が少ない	6.8	7.0
カード払いができない	10.0	7.0

資料: 愛知県「愛知県訪日外客動向調査」

(6) 観光地としての魅力度（「魅力がある」の割合）

【図表 16 観光地としての魅力度の推移】

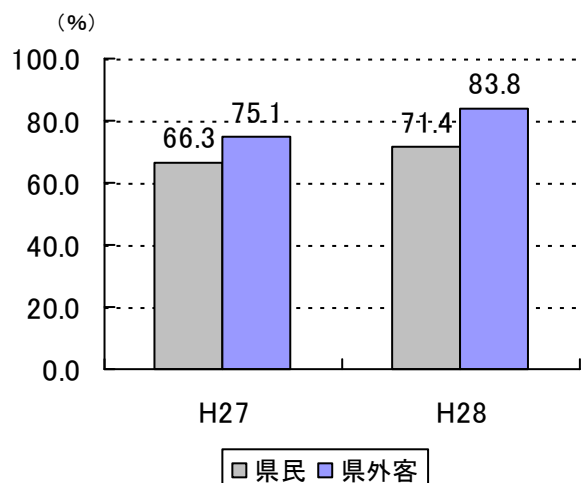


*計画当初値は、平成 27 年 4-9 月の数値で設定している。

資料: 愛知県「観光地実態調査」及び愛知県「愛知県訪日外客動向調査」より集計

- 「本県には、他の都道府県や海外から訪れる観光客におすすめできる観光地としての魅力があるか」との問いに対する回答は、計画当初(平成 27 年)と比較して、全体が 69.7%から 74.9%、外国人が 66.3%から 71.4%となり、ともに向上した。
- 県外客の評価の方が県民の評価より高い傾向は変わらず、むしろ拡大した(図表 17)。
- 県外客の評価が県民を上回っているのは、「歴史・文化」や「食文化・特産品」の他は、「美術館・博物館・科学館」や「ショッピング・コンサート等」、「スポーツ観戦」など、比較的、都市的要素の濃いものが挙げられており、これは県外客回答者の過半数が隣接県(岐阜・三重・静岡)で占められていることに起因していると推測される(図表 18)。

【図表 17 県民/県外客の観光地としての魅力度評価の推移】



資料: 愛知県「愛知県観光地実態調査」

【図表 18 県民/県外客の魅力度評価ポイント】

評価ポイント	(%)	
	県民	県外客
歴史・文化	37.5	41.9
食文化・特産品	35.0	38.9
動物園・水族館	33.6	32.3
美術館・博物館・科学館	19.1	22.2
公園・遊園地・テーマパーク	16.1	13.3
自然	13.3	9.7
季節のレジャー(花見・海水浴等)	12.8	8.0
工場見学・学習	9.8	7.7
イベント・祭り・伝統芸能等	7.9	6.3
温泉地	6.8	5.8
ショッピング・コンサート等	6.1	10.9
スポーツ観戦	3.3	5.1

資料: 愛知県「愛知県観光地実態調査」

2 平成 28 年度の観光振興施策の実施状況

平成 28 年度に実施した、「あいち観光戦略」に掲げるプロジェクトに係る主な施策は、以下のとおりである。

戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化

(1) 情報発信の充実・強化

① 海外観光説明会・商談会開催

② 海外プロモーション実施

【広東省観光プロモーション】(国際観光コンベンション課)

経済成長著しく、訪日旅行客数が大幅な伸びを続けるとともに、本県との友好交流先である中国・広東省において、観光説明会・県内観光事業者との商談会開催等の観光プロモーションを実施した。

《実績》

参加者数／愛知県内観光事業者等：18 団体・22 名、中国現地旅行会社・メディア：35 社・49 名

【アジア大商談会の開催】(国際観光コンベンション課)

訪日旅行客数の多いアジア 5 ヶ国・地域(中国、香港、シンガポール、フィリピン、ベトナム)の旅行会社・メディアを招請し、滞在期間中に観光説明会・県内観光事業者との商談会・交流会を開催することで、本県の観光魅力を PR し、旅行商品の造成及び情報発信を働きかけた。

《実績》

招請者数／中国：11 社・12 名、香港：9 社・10 名、フィリピン：12 社・13 名、シンガポール：6 社・6 名、ベトナム 10 社・12 名。以上のほか、大商談会実施期間外に、香港：2 社 4 名、フィリピン：1 社 6 名、ベトナム：1 社 1 名

【海外観光説明会の開催】(国際観光コンベンション課)

韓国及び台湾において、県内観光事業者とともに観光説明会・交流会等を開催したほか、セールスコールを実施した。

《実績》

➤ 韓国

- ✓ セールスコール訪問旅行会社数／11 社
- ✓ 観光説明会現地側出席者数／37 社・52 名(旅行会社・航空会社・メディア等)
- ✓ 商談会愛知県側参加者数／9 社・11 名(愛知県観光協会はじめ民間企業・団体)
- ✓ 成果／旅行商品造成：7 社・45 商品、メディア掲載：5 媒体

➤ 台湾

- ✓ セールスコール訪問旅行会社等数／11 社
- ✓ 観光説明会現地側出席者数／60 社・93 名(旅行会社・航空会社・メディア等)
- ✓ 商談会愛知県側参加者数／10 社・29 名(愛知県観光協会はじめ民間企業・団体)
- ✓ 成果／旅行商品造成：7 社・58 商品、メディア掲載：5 媒体

【各種展示会への出展】(産業立地通商課)

中国・上海及びタイ・バンコクの海外産業情報センターが、現地で開催される各種展示会に出

展して本県の魅力をPRすることで、外国人観光客の誘致を図った。

《実績》

- JNTO 北京主催武漢セミナー・商談会に出席し、愛知県観光情報PR。(平成28年12月)
- 三菱東京UFJ銀行(現地アユタヤ銀行)主催の商談会に出席し、愛知県観光情報をPR。(平成28年11月)

【各種展示会への出展】(産業立地通商課)

アセアンへの参入・拡大を目指す県内企業に対し本県が展示会等への出展支援を実施する際に、愛知県の観光も併せてPRし、外国人観光客の誘致を図った。

《実績》

マニファクチャリング・インドネシア 2016

- 日程:平成28年11月30日～12月3日
- 場所:インドネシア ジャカルタ国際展示場
- 来場者数:31,580人

③中部広域観光推進協議会や東海地区外国人観光客誘致促進協議会等と連携した取組

【東海地区外国人観光客誘致促進協議会】(国際観光コンベンション課)

東海地区外国人観光客誘致促進協議会の一員として、中国、台湾、ベトナムを対象に、メディアや旅行社の招請事業や現地でのプロモーション事業等を実施した。

《実績》

- 本体事業
 - ✓ ジャパン・ベトナムフェスティバル in ホーチミン 2016 出展及び情報発信事業
 - ✓ 台湾からの伊勢湾周遊旅行促進事業
 - ✓ 中国市場向け情報発信事業
- 愛知・名古屋部会事業<招請等>
 - ✓ 韓国誘致プロモーション招請事業への協力(平成28年6月)
 - ✓ ベトナム旅行会社等招請事業(平成28年11月～12月)
- 愛知・名古屋部会事業<アジアプロモーション事業>
 - ✓ フィリピンプロモーション事業への協力(平成28年7月)
 - ✓ ベトナムプロモーション事業への協力(平成28年7月)
 - ✓ 香港・広州プロモーション事業(平成28年9月)
 - ✓ インドネシア旅行博「COOL JAPAN TRAVEL FAIR 2016 IN JAKARTA」への協力(平成28年9月)
 - ✓ ベトナムプロモーション事業(VJ 地方連携事業)への協力(平成28年10月)
- 愛知・名古屋部会事業<その他>
 - 海外教育旅行等の受入(平成28年7月)
 - 愛知県主催アジア大商談会への参加(平成28年10月・11月)

【中部広域観光推進協議会】(国際観光コンベンション課)

中部広域観光推進協議会の一員として、海外旅行博出展事業、海外現地プロモーション事業、旅行会社・メディア招請事業、ミッション団派遣事業を行った。また、中部北陸9県を軸にした観光地域の一体的なブランドの確立、効果的なマーケティングに基づくプロモーション及び情報発信、新たな視点による事業展開などを行う中央日本総合観光機構の設立に向け、関係機関と協議を行った。

《実績》

- 上海世界旅行博出展(平成 28 年 5 月)
- 香港国際旅行展示会出展(平成 28 年 6 月)
- ベトナムへの昇龍道ミッションの派遣(平成 28 年 8 月)
- 天津旅遊産業博出展(平成 28 年 9 月)
- MATTA FAIR 2016 出展(平成 28 年 9 月)
- ベトナムへの昇龍道ミッション派遣フォローアップ招請(平成 28 年 11 月～12 月)
- 台北国際旅行博 2016 出展(平成 28 年 11 月)
- 昇龍道物産観光展開催(平成 28 年 11 月)
- タイ国際旅行フェア(TITF)出展(平成 29 年 2 月)
- 広域観光周遊ルート形成促進事業(通年)
- 国際空港等を活用した情報発信事業(通年)

⑤各種広報媒体による情報発信

【広報誌制作事業】(広報広聴課)

昨年度制作した広報誌に一部新しい写真を採り入れ、より魅力ある内容にした広報誌「愛知の引力。2016」を多言語で制作した。

《実績》

言語: 日本語、英語、中国語、部数: 70,000 部

【広報グッズの制作】(国際観光コンベンション課)

セールススクールや観光展に際し、本県の PR を行うための広報グッズ、ノベルティーを制作することにより、本県の知名度向上と一層の誘客促進を図った。

《実績》

ポスター: 1,500 枚、ピンバッジ: 3,000 個、招き猫ストラップ: 3,000 個、紙袋: 2,000 枚、ポケットフォルダ: 1,600 個、ビニール袋: 5,000 枚

【「Aichi Now」を通じた情報発信】(国際観光コンベンション課)

愛知県観光協会が運営する「Aichi Now」のウェブページ・SNS を通じ、日本語を含めた多言語で、本県の魅力について情報発信を行った。

《実績》

- ウェブサイト(平成 28 年度 PV 数)
 - ✓ 日本語: 2,274,784PV
 - ✓ 英語: 381,480PV
 - ✓ 中国語(繁体): 257,137PV
 - ✓ 中国語(簡体): 31,395PV
 - ✓ 韓国語: 77,794PV
 - ✓ タイ語: 27,645PV(平成 28 年 8 月 31 日開設)
- SNS(平成 28 年度末時点フォロワー数)
 - ✓ Facebook : 日本語 7,971 人、中国語(繁体) 41,522 人、英語 111,352 人
 - ✓ Twitter : 日本語 1,224 人、中国語(繁体) 88 人、英語 267 人
 - ✓ Tumblr : 英語 25 人
 - ✓ Weibo : 中国語(簡体) 397 人

- ✓ Wechat : 中国語(簡体)497 人
- ✓ LINE : 日本語 16,286 人
- ✓ Instagram : 日本語 383 人(ファン数)

【公式ガイドマップの制作】(国際観光コンベンション課)

多言語の公式ガイドマップを制作し、中部国際空港や名古屋駅等で配布することを通じて、愛知県を訪れる外国人旅行者へ愛知県の観光情報を提供した。

《実績》

合計発行部数:9 万部(日本語 55,000 部、英語 16,000 部、簡体字 6,000 部、繁体字 10,000 部、韓国語 3,000 部)

(2)アジアを重視した誘客促進と受入環境の整備促進

①受入環境の整備促進

【ムスリム受入先進事例調査】(国際観光コンベンション課)

ムスリム受入に係る先進事例調査を行い、その状況を周知するセミナーを開催することで、ムスリム旅行者に対する本県の受入環境整備を促進した。

《実績》

- 先進事例調査 : 飛騨高山ムスリムフレンドリープロジェクトの民間主導の取組を調査。
- ムスリムおもてなしセミナー
 - ✓ 開催日:平成 29 年 2 月
 - ✓ 会場:蒲郡市民会館 大会議室
 - ✓ 参加者:61 名

(3)駐日外国公館・外国政府観光局・海外メディアとの連携

①駐日外国公館・外国政府観光局・海外メディアと連携した情報発信

【CNN を通じた情報発信】(国際観光コンベンション課)

CNN が誇る制作力、企画力を最大限活用し、日本を代表する観光デスティネーションとして愛知県の魅力を PR することにより、愛知県の認知度やブランド力向上を図るとともに、CNN ユーザーの日本への興味を向上させ、旅行者増加を図った。

(4)伊勢志摩サミットを活用した魅力発信

①サミットのゲートウェイであるセントレアや名古屋駅及び国際メディアセンター等での魅力発信

【ゲートウェイとして各国首脳等の歓迎・おもてなし及び愛知・名古屋の魅力発信】(国際課)

中部国際空港において、各国首脳等をお出迎えし愛知の魅力を PR したほか、アウトリーチ国首脳等をお招きして、愛知・名古屋歓迎レセプションを開催した。また、4 か国の首脳等と個別に会談し、愛知・名古屋を PR した

②サミット参加のため本県を訪れる各国首脳や関係者等が、本県の魅力に触れられる取組の実施

【伊勢志摩サミットを契機とした魅力発信】(国際課)

国際的知名度向上を図るため、各国大使等へ愛知の魅力を紹介した。

《実績》

- 大使館向けツアーの開催:7 名参加
- 知事による大使館への PR:6 か国
- 海外メディア向け招請事業の開催:3 回、16 社参加

(5) 訪日教育旅行の誘致・受入

① 訪日教育旅行の誘致・受入

【訪日教育旅行の誘致・受入】(国際観光コンベンション課)

一般社団法人愛知県観光協会を中心として、他県と連携した海外プロモーションや教育関係者の招請事業、商談会に参加するほか、個別に海外の学校を訪問して本県への教育旅行の魅力をPRした。

《実績》

14校1団体、546名受入

【訪日教育旅行の受入】(教育委員会高等学校教育課)

依頼に応じて訪日教育旅行の受入を行った。

《実績》

中国高校生訪日団の受入(日中友好会館からの依頼)

- 11/11 県立三好高等学校(28名)
- 11/11 県立安城東高等学校(28名)
- 12/12 県立木曾川高等学校(28名)

(6) インターネット環境の利便性向上

① 無料公衆無線 LAN 等の整備促進

【県有施設無料公衆無線 LAN 整備事業】(情報企画課)

県有施設に無料公衆無線 LAN 環境を整備した。

《実績》

5か所(大高緑地、小幡緑地、牧野ヶ池緑地、熱田神宮公園、愛・地球博記念公園)、8アクセスポイント

② 「Aichi Free Wi-Fi」の運営

【外国人旅行者の受入環境の整備促進】(国際観光コンベンション課)

無料公衆無線 LAN 環境整備施設マップ及び県内の観光情報を掲載したポータルサイトにより、無料公衆無線 LAN の対応状況の情報発信を行った。

《実績》

平成 28 年度ポータルサイト PV 数:63,608PV

③ 「あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会」による無料公衆無線 LAN の整備・促進等

【あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会の運営】(情報企画課)

無料公衆無線 LAN 環境の普及促進のため、あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会を通じて、取組事例の紹介や設置勧奨、周知・広報活動等を行った。

《実績》

- フリーWi-Fi PR ポスター・パンフレットフォルダーの配布(ポスター約 50 枚、パンフレットフォルダー約 15,000 部)
- 基本仕様書の作成
- Wi-Fi接続ログを利用した訪日外国人旅行者の行動分析

戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進

(1) 武将観光・産業観光の推進

① 戦国武将やゆかりの史跡、忍者等を生かした武将観光の推進

② 武将観光イベントの開催

【武将観光の推進】(観光振興課)

本県には、信長、秀吉、家康の郷土の三英傑をはじめ、数多くの戦国武将を輩出しており、県内には、戦国武将ゆかりの史跡や合戦を再現する祭りも数多く存在している。そこで、国内外の「武将、騎士及び甲冑をテーマに活動する団体」が一同に会する武将観光イベントを開催するとともに、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」により「武将のふるさと愛知」を世界に情報発信することで、国内外からの観光客の誘致を図った。

《実績》

- 武将観光イベント
 - ✓ イベント名:ワールドサムライサミット 2016
 - ✓ 開催日:平成 28 年 11 月 19 日・20 日
 - ✓ 場所:愛・地球博記念公園
 - ✓ 来場者:25,000 人
- 徳川家康と服部半蔵忍者隊
 - ✓ メンバー応募者数:235 名(外国人 200 名、日本人 35 名)
 - ✓ 活動実績:名古屋城、中部国際空港及び宿場町を拠点に活動(名古屋城 323 日、中部空港 97 日、その他 140 日(延べ))

③ あいち航空ミュージアムの整備

【あいち航空ミュージアム整備事業】(航空対策課)

「次代の航空機産業を担う人材育成の推進」等のコンセプトに基づき、「あいち航空ミュージアム」の整備を進めることとしている。そのため、本年から施設の建設工事に着手するとともに、ミュージアムに展示するコンテンツについて実施設計を行い、その一部の製作に着手した。また、ミュージアムの運営管理についても手続きを行った。

④ 武将観光に係る資源発掘と磨き上げ

【名古屋城本丸御殿整備費補助金】(観光振興課)

名古屋城本丸御殿の復元を支援することにより、本県の観光のシンボルである名古屋城の歴史的・文化的価値と魅力を高め、本県全体の観光イメージの向上と観光振興を図る取組を行った。

《実績》

- | | |
|--------------|--------------|
| 平成 21 年 1 月 | 起工式 |
| 平成 22 年 10 月 | 「玄関」の一部公開 |
| 平成 23 年 7 月 | 「表書院」上棟 |
| 平成 25 年 5 月 | 「玄関・表書院」一般公開 |
| 平成 28 年 6 月 | 「対面所・下御膳所」公開 |

⑦産業観光に係る資源発掘と磨き上げ

【愛知・岐阜連携産業観光推進協議会】(観光振興課)

東海地方には、当地で発展してきた繊維機械産業、自動車産業、航空機産業などをテーマにした産業観光施設や、武将ゆかりの史跡等が数多く存在し、観光資源として積極的に活用していくことが必要である。そこで、愛知・岐阜両県地域の代表的な産業観光施設及び武将観光施設のネットワーク化を図り、効果的に情報発信を行うとともに、周遊観光を可能にする体制を整備することで、各産業観光施設・武将観光施設の観光入込客数の増加及び将来に渡っての安定的な観光客確保の基盤の造成を行った。

《実績》

- ▶ モニターバスツアーの実施
 - ✓ 8コース中、7コース催行(参加者 215名)
- ▶ パンフレット「見にとりっぷ/いくさとりっぷ」の作成
 - ✓ 掲載施設:産業観光 60(うち愛知県 30)施設、武将観光 60(うち愛知県 30)施設
 - ✓ 印刷部数:3万部

【「リニモ」の産業観光資源としての利活用】(交通対策課)

愛知高速交通株式会社において、引き続き、旅行会社等に対する「貸切りニモ」の販売を実施した。

《実績》

91回、9,495人利用

⑧産業観光施設の連携強化

【産業観光スタンプラリーの実施】(観光振興課)

本県の産業観光施設を観光資源として活かすとともに、岐阜県の産業観光施設とも相互のネットワーク化を図り、その魅力を広くアピールすることにより本県の観光振興を図った。

《実績》

- ▶ 実施期間:平成28年7月16日～9月30日
- ▶ 参加施設:愛知県46施設、岐阜県56施設
- ▶ 施設訪問者数:5,828人(有効応募者数1,631人)

(2)伝統・文化に触れる観光の推進

①山車まつり文化のPR・プロモーション

【地域伝統芸能全国大会の開催準備】(観光振興課)

平成30年秋、本県内で開催を予定している地域伝統芸能全国大会の準備を進め、山車まつり文化を含む本県の多様な伝統芸能に関する情報発信の好機とする。

《実績》

- ▶ 平成28年6月 平成30年の「地域伝統芸能全国大会」が愛知県開催で正式決定
- ▶ 平成28年10月 開催日決定(平成30年11月3日～4日)

【あいち山車まつり活性化事業】(教育委員会生涯学習課文化財保護室)

「あいち山車まつり日本一協議会」において、①総会・研修会の開催、②シンポジウムの開催、③公開イベントの開催、④ポスター、パンフレットの作成を実施した。また、「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組についての連絡協議会と連携し、平成29年1月にユ

ネスコ無形文化遺産登録を記念した行事を共催した。

《実績》

- 総会・研修会の開催
開催日:平成 28 年 6 月、場所:キャッスルプラザ、参加者数:約 230 人
- シンポジウムの開催
開催日:平成 28 年 9 月、場所:ルブラ王山、内容:日本の祭シンポジウム、参加者数:約 300 人
- 公開イベントの開催
開催日:平成 29 年 2 月、場所:イオンモール大高、内容:山車まつりステージ、トークショーなど、参加者数:延 3,000 人
- ポスター、パンフレットの作成
ポスター:400 部、パンフレット(山車図鑑):6,000 部

(3)グルメ・食文化のブランド化

①なごやめし普及促進協議会を通じた「なごやめし」の普及促進

【なごやめしの普及促進】(観光振興課)

名古屋市等とともに設立した「なごやめし普及促進協議会」を通じ、なごやめしの魅力を国内外に向けて発信することで、本県への一層の誘客促進を図った。具体的には、多言語パンフレット・リーフレットやホームページ、SNS、首都圏でのイベント出展等を通じて魅力発信を行った。

《実績》

- 番組制作:『ゴゴスマ』(CBC テレビ)内で「なごやめし」特別企画
- イベント出展:「ふるさと県人会まつり 2016」等 3 件
- 観光 PR イベント出展支援・協力:補助 5 件(848,796 円)
- 情報発信:多言語パンフレット作成(日本語=4 万部、英語・中国語(簡体・繁体)・韓国語=各 12,000 部)、PR グッズ作成、ウェブサイト・SNS・動画を活用した情報発信

②ご当地グルメや食文化の PR・プロモーション

【「こってりだけじゃない。」をキャッチフレーズにした魅力発信】(観光振興課)

平成 27 年度に「こってりだけじゃない。」をキャッチフレーズに、知事をモデルにした観光 PR キャラクター「ひでっち」をメインキャラクターに使用して作成した観光 PR 資材により、本県のグルメや観光名所などの魅力を発信した。

《実績》

観光パンフレット作成:25,000 部

【観光土産品コンテスト】(観光振興課)

急増する外国人観光客の消費を喚起し、地域経済の活性化に繋げるため、新たに外国人観光客向けの「売れる」観光土産品の発掘、販売促進のためのコンクールを開催した。

《実績》

- 「外国人 100 人が選ぶ あいち・なごやのお土産コンクール」開催
- コンクール出品数:和洋菓子 21 商品、加工食品 6 商品
 - 第 1 次審査:平成 28 年 9 月、外国人ボランティア審査員 93 名
 - 第 2 次審査:平成 28 年 10 月、知事賞・市長賞等の選定

【あいちの酒需要拡大の促進】(産業振興課)

アジア圏からの観光客等をターゲットに県内の地酒の PR、販売活動を展開することにより、中

小酒造メーカー等の販売促進を支援した。

《実績》

- ▶ 日本酒等販売促進会議の開催 2回(平成28年6月、29年3月)
- ▶ PR用パンフレット「愛知の酒」の作成(印刷部数10,000部)
- ▶ 観光地での試飲販売会 10回
- ▶ 中部国際空港での試飲販売会 3階免税店エリア 1ヵ月間(平成28年6月)
- ▶ foodex2017への出展(平成29年3月)

【愛知の食文化継承事業(郷土料理レシピ集の作成)】(食育消費流通課)

食文化を通じた地域振興、都市と農山漁村の交流の促進、次世代への地域の食文化の継承等を図るため、県内各地域の郷土料理のレシピやそのいわれ等についてまとめた「あいちの郷土料理レシピ50選」を作成した。

《実績》

発行日:平成29年2月、部数:5,000部

【いいともあいち推進店の登録推進】(食育消費流通課)

県産農林水産物を積極的に販売する店舗や、食材として利用する飲食店に働きかけ、「いいともあいち推進店」の登録を推進した。

《実績》

登録店舗数:1,049店(平成28年度末時点)

【愛知のふるさと食品コンテストの開催】(食育消費流通課)

県産農林水産物を活用した加工食品の品質向上を図るとともに、開発技術、販売手法等を支援して、新たな加工需要を創出し、農林水産業の生産振興に資するため、愛知のふるさと食品コンテストを開催した。

《実績》

出品数:42食

③農林水産物のPR・プロモーション

【あいちの農産物トップセールス in 東京の開催】(食育消費流通課)

本県農産物等の約3割を出荷している首都圏において、県と県内農業団体の代表者が本県産青果物や花きの購入を直接消費者に呼びかけ、消費拡大を図った。

《実績》

日時:平成29年2月12日、場所:東京都品川区(ライフ大崎ニューシティ店)、出席者:愛知県知事、JAあいち経済連会長等

【第55回農林水産祭実りのフェスティバルへの出展】(食育消費流通課)

本県産農産物の需要拡大を図るため、11月11日、12日に、サンシャインシティワールドインポートマートビルで行われる農林水産祭実りのフェスティバルに出展し、本県産農産物の即売を行うとともに、パネル展示やリーフレットの配布を行った。

【食と花の街道認定】(農業振興課)

愛知県産の農林水産物やその加工品を活用し、食や花をテーマとして、地域活性化と観光振興を目的として創出された「街道」を「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」として認定し、その魅力を広くPRすることにより、農林水産業の振興と都市と農村の交流の促進

を図った。

《実績》

認定数:7 街道(うち、いいともあいち食の街道:6 街道、花の王国あいちフラワー街道:1 街道)

(4) 着地型観光の推進

① 着地型観光の商品化支援

② 着地型観光商品の販売促進支援

【着地型旅行商品コーディネーター育成講座の開催】(観光振興課)

県内を広く周遊する着地型旅行商品の造成・販売等を行える県域連携 DMO の形成に向け、市町村や地域観光協会、商工会等の職員を中心に、幅広い県民を対象にした着地型旅行商品コーディネーターの育成講座を開催した。

《実績》

- 会場:名古屋・岡崎
- 開催回数:各 6 回(第 3 回・第 6 回のみ両会場共通)
- 受講者数:80 名(名古屋 53 名、岡崎 27 名)

【地域旅行商品総合支援事業／東三河地域旅行商品総合支援事業】(観光振興課)

地域の観光資源を着地型旅行商品として旅行会社へ効果的に売り込み、企画から販売までの窓口を一元化することで、旅行会社等のニーズに合わせた多様な企画・販売をコーディネートし、観光客の持続的な増加を図る取組を行った。

《実績》

- あま市、津島市、常滑市、半田市、蒲郡市、田原市、名古屋市で着地型旅行商品を造成。
- 首都圏及び関西圏旅行会社向け観光説明会を開催し、旅行商品を PR。

【地域文化資源を活かした地域活性化推進事業】(文化芸術課)

地域文化を発信し、その魅力を再発見するとともに、地域全体の魅力を向上させることにより、まちの活性化を推進するため、市町村等と連携しながら、国民文化祭事業と地域資源を活用した「着地型観光プログラム」を組み合わせた観光ツアー等を実施し、県内外からの誘客展開を図った。

《実績》

観光ツアー催行本数:16 本

(5) 情報発信の充実・強化

① 首都圏等の他の都道府県における情報発信・プロモーション

【県営名古屋空港協議会と連携した PR・プロモーション】(航空対策課)

県営名古屋空港協議会との連携事業として、就航地からの利用客の需要を掘り起こすため、県営名古屋空港を活用した当地域における観光プランや就航地における観光プランを提案するリーフレット(名古屋航路 年 4 回)を作成し、就航地の自治体や旅行代理店へ配布した。

また、県営名古屋空港協議会・就航先と連携して、就航先にキャラバン隊を派遣し、マスコミ訪問や集客施設での PR を実施するほか、チラシ・ポスターによって、県内・就航先の観光情報や交通情報等を発信した。

《実績》

キャラバン隊実績

- 岩手県庁、花巻市役所等への表敬訪問、イベント会場での PR(平成 28 年 9 月)

- 青森県庁、青森市役所等への表敬訪問、イベント会場でのPR(平成28年12月)
- 高知県庁、高知商工会議所等への表敬訪問、イベント会場でのPR(平成29年3月)

【首都圏・関西圏プロモーション推進事業】(観光振興課)

関係部局や県内市町村と連携して、愛知の観光物産展を首都圏でおおむね毎月開催するほか、首都圏及び関西圏において効果的にプロモーションを実施し、愛知の魅力を発信した。

《実績》

- 首都圏プロモーション
 - ✓ 平成28年6月11日・12日 東京シティアイ・KITTE
 - ✓ 平成28年10月22日・23日 JR有楽町駅前広場
- 関西圏プロモーション
 - ✓ 平成28年9月22日 JR大阪ステーションシティ
- 愛知の観光物産展
 - ✓ 全10回

【武将観光の推進】(観光振興課)

本県には、信長、秀吉、家康の郷土の三英傑をはじめ、数多くの戦国武将を輩出しており、県内には、戦国武将ゆかりの史跡や合戦を再現する祭りも数多く存在している。そこで、武将にゆかりのある城や古戦場に絡むイベントなど(平成28年度は、函館・松江)へのPRキャラバンを実施し、「武将のふるさと愛知」をPRした。

《実績》

- はこだてグルメサーカス
 - ✓ 開催日:平成28年9月10日・11日
 - ✓ 会場:はこだてグリーンプラザ、JR函館駅前特設会場
 - ✓ 内容:名古屋おもてなし武将隊とともに、ステージ演武等
 - ✓ 来場者数:10日128,000人、11日143,000人
- 鷹の爪団のSHIROZEME 2016 in 国宝松江城
 - ✓ 開催日:平成28年9月17日
 - ✓ 会場:国宝松江城とその周辺
 - ✓ 内容:ステージ演武等

【愛知デスティネーションキャンペーンの実施準備】(観光振興課)

平成30年秋季に開催することが決定しているJRデスティネーションキャンペーンについて、実施協議会の設立や基本計画の策定等の準備を進めた。

【東三河「新しい人の流れ」創出事業】(東三河総局企画調整課)

「東三河『新しい人の流れ』創出事業」において、東京圏(在住者)を対象とした、飯田線プロモーション、東三河魅力体験ツアーや東三河魅力発信セミナーを実施し、東三河の魅力の発信を図った。

《実績》

- 飯田線プロモーション
 - ✓ 東京MXTV「週末めとろポリシャン」飯田線特別番組を制作、55分枠/平成28年10月15日OA
- ツアー(1泊2日×3回)
 - ✓ 第1回:平成28年11月12日～13日、奥三河、98名(応募)→18名(参加)

- ✓ 第2回:平成28年12月10日～11日、蒲郡市・田原市、35名(応募)→20名(参加)
- ✓ 第3回:平成29年2月11日～12日、豊橋市・豊川市、146名(応募)→20名(参加)
- セミナー(2回)
 - ✓ 第1回:平成28年11月6日、蒲郡・田原編、銀座ファーマーズプラボ、258名(応募)→49名(参加)
 - ✓ 第2回:平成29年1月21日、豊橋・豊川編、豊川稲荷東京別院、146名(応募)→43名(参加)

②各種広報媒体による情報発信

【東三河「新しい人の流れ」創出事業】(東三河総局企画調整課)

「東三河『新しい人の流れ』創出事業」において、スマートフォンサイト「IKOMAI 東三河 ほの国トリップ」、東三河の素敵ストーリーコンテスト、東三河観光PRコーナーを製作・設置・実施し、東三河の魅力の発信を図った。

《実績》

- スマートフォンサイト「IKOMAI 東三河 ほの国トリップ」
ページビュー:9,565PV(H28.12.22～)
- 東三河の素敵ストーリーコンテスト
「東三河の快適な暮らし」を伝えるストーリー作りの一環として、東三河の地域資源の良さを伝えるショートストーリーを公募。集まった素材を活用し、PRポスター、動画を作成。
 - ✓ 応募件数:182件
- 東三河観光PRコーナー
 - ✓ 設置場所:東三河総合庁舎1階正面エントランスホール
 - ✓ 設置物品:観光PRボード、馬防柵、自立式看板など(各種イベントのPRブースなどでも活用)

【包括協定を締結した各社店舗等での情報発信】(道路建設課)

包括協定を締結している中日本高速道路との連携により、パンフレットやポスターを通じて観光情報を発信した。

《実績》

観光情報誌を30,000部発行

③動画による情報発信

【「ワクワクあいち」WebサイトによるPR動画掲載】(情報企画課)

愛知の魅力発信を目的として、平成23年度から運用している「ワクワクあいち」Webサイトの「動画ギャラリー 感☆動あいち！」ページで、引き続き愛知の観光スポットや特産品、地域情報などのPR動画を掲載した。

《実績》

アクセス数:54,000件

【観光PRキャラクター事業】(観光振興課)

俳優の松平健氏を起用し、話題を呼ぶウェブ動画や特設ウェブサイト、ポスターを制作・公開することにより多くの人々を惹きつけ、それらの人々に本県ならではの特色ある「モノスゴ」な観光資源を訴求することで、本県の観光地としての認知度向上を促進した。

《実績》

- 動画再生回数:1,212,065回(うち、Youtube独自アカウントは50,553回)
- メディア掲載実績:テレビ9局11番組13回、新聞9紙

(6)映画・ドラマ等のロケ支援及びロケーション資源の活用

- ①映画やドラマ等のロケ誘致と撮影支援
- ②ロケ地の PR・プロモーション
- ③愛知県フィルムコミッション協議会の運営

【フィルムコミッション活動の支援】(観光振興課)

映画やドラマ等のロケ地は観光資源として観光客誘致が期待できるとともに、撮影のために訪れた撮影スタッフによる宿泊や飲食等による直接的な経済効果を期待できるため、「愛知県フィルムコミッション協議会」構成団体と協力し、県全域のロケ誘致に取り組むとともに、パネル展やロケ地マップの作成を通じて、ロケ地となった箇所の PR を行った。

《実績》

- ▶ パネル展:県内外で5回開催
- ▶ ロケ地マップ:撮影支援を行った4作品について各2万部作成
- ▶ 愛知県フィルムコミッションセミナーの開催(平成28年5月20日、参加者100名)

(7)ポップカルチャー観光の推進

- ①「世界コスプレサミット」の開催支援

【「世界コスプレサミット」の開催支援】(観光振興課)

世界コスプレサミット実行委員会に加入し、会場調整や広報で開催を支援した。

《実績》

参加国・地域:30カ国・地域

- ②ポップカルチャー観光に係る資源発掘と磨き上げ
- ③ポップカルチャー観光に係る PR・プロモーション

【観光まちづくり戦略形成促進事業】(観光振興課)

ポップカルチャーに関するイベントを開催するほか、首都圏・関西圏等発着の県内観光地・ニューツーリズム等を巡るバスツアーに対して造成支援した。また、ツアー造成旅行会社及びツアー参加者からの情報収集に基づくマーケティング調査、分析、戦略考案を行った。

《実績》

造成支援件数:28件(ツアー参加者995人)、アンケート回収数:995件

(8)山村・離島の観光振興

- ①山村・離島の観光資源の発掘と磨き上げ
- ②山村・離島の観光に係る PR・プロモーション
- ③山村・離島の観光に係るメディア・旅行会社等との連携強化

【あいちの離島及び周辺地域の情報発信】(地域政策課)

あいちの離島3島及びそれぞれのゲートウェイの PR 事業及び新たな魅力づくりに取り組んだ。具体的には、①テレビ・ラジオ・情報誌等を活用した島の PR、②島の魅力をメディアや情報発信力のある方に知っていただくため、メディア制作関係者や著名人等を対象にしたプレスツアーの開催、③観光資源の発掘・磨き上げにより、3島それぞれで、国内外にアピールできるオンリーワンの新たな地域ブランドの創出を行った。

《実績》

- ▶ ①テレビ・ラジオ・情報誌等を活用した島の PR

テレビ・ラジオ放送実績:16回

➤ ②プレスツアー

催行回数:6回

➤ ③地域ブランドの創出

ブランディング会議 20回開催

【山里の魅力創造発信事業】(地域政策課山村振興室)

平成 27 年度に引き続き、「山里の魅力創造社」を具体的な実行主体として立ち上げ、三河山間地域の観光資源等を掘り起し、磨き上げて、テレビ・ラジオ番組を通して情報発信し、併せて年間 10 本のバス旅行を企画・実施することで、交流人口の増加を図った。

《実績》

➤ 情報発信

テレビ:10分・30分番組を各5回、ラジオ:12回

➤ バスツアー

催行本数:10本、参加者数:170人

【ブログサイト「三河の山里だより」での情報発信】(地域政策課山村振興室)

ブログサイト「三河の山里だより」において、三河山間地域の観光情報や特産品情報等を発信した。

《実績》

アクセス数:6,113件、ページビュー数:9,734件

④山村・離島における交流居住の推進

【交流イベントの実施】(地域政策課山村振興室)

愛知県交流居住センターにより、三河山間地域集落と都市住民との交流イベントを実施した。

《実績》

➤ 開催回数:10回

➤ 場所:三河山間地域の各地

➤ 内容:農業体験や祭りの手伝い等

➤ 参加者数:259人

【奥三河やまいかプロジェクト実行委員会事業】(地域政策課山村振興室)

県の「やま・ひと・しごと広域連携推進事業」と連携し、起業実践者の育成・活用に取り組んだ。

都市部での奥三河への移住促進プロモーションとして、ふるさと回帰支援センター等にて移住相談会を実施するとともに、名古屋をはじめとした中京圏でも移住相談会を実施し、奥三河への移住定住の促進や情報発信をした。

《実績》

➤ 東京都:平成 29 年 1 月 27 日開催、参加者数 4 人

➤ 名古屋市:平成 29 年 3 月 12 日開催、参加者数約 30 人

(9)街道観光の推進

①街道観光に係る資源発掘と磨き上げ

②街道観光関係施設の連携強化

③街道観光に係る PR・プロモーション

【東海道キャンペーンの実施】(観光振興課)

東海道キャンペーン実行委員会の一員として、「トコトコ東海道」の企画・運営に携わった。

《実績》

キャンペーン参加者数:1,540名

(10) 酒蔵を生かしたツーリズムの推進

- ① 酒蔵を生かしたツーリズムに係る資源発掘と磨き上げ
- ② 酒蔵を生かしたツーリズム関係者の連携強化
- ③ 酒蔵を生かしたツーリズムに係るPR・プロモーション

【日本銘酒街道の推進】(国際観光コンベンション課)

酒蔵を生かしたツーリズムを推進するため、中部広域観光推進協議会の一員として、同協議会が進める「昇龍道日本銘酒街道」の取組に参画した。

《実績》

昇龍道プロジェクト推進協議会にて、日本酒文化を世界に広める平出淑恵氏に昇龍道大使を委嘱(平成29年3月)

【あいちの酒需要拡大の促進】(産業振興課)

アジア圏からの観光客等をターゲットに県内の地酒のPR、販売活動を展開することにより、中小酒造メーカー等の販売促進を支援した。

《実績》

- 日本酒等販売促進会議の開催:2回(平成28年6月,29年3月)
- PR用パンフレット「愛知の酒」の作成:印刷部数10,000部
- 観光地での試飲販売会:10回
- 中部国際空港での試飲販売会(3階免税店エリア):1ヵ月間(平成28年6月)
- foodex2017への出展(平成29年3月)

(11) 観光施設の整備等への支援

- ① 観光施設の設置及び改修整備への支援
- ② 観光展の開催や広域的観光振興事業等への支援

【元気な愛知の市町村づくり補助金】(市町村課市町村行政支援室)

観光振興につながる地域の資源を活かした自主的・主体的な取組に対して、予算状況に応じて、補助金を交付した。

《実績》

(観光振興関連事業分)

交付件数:1件、交付実績額:5,000,000円

【設楽ダム水源地域整備事業】(土地水資源課)

設楽ダム水源地域整備事業の一環として、設楽町が実施する歴史民俗資料館建設、ダム湖周辺の公園整備事業に支援を行った。また、今後、整備される設楽ダム本体やダム湖周辺が魅力あるものとなるよう、設楽ダム水源地域振興連絡調整会を開くなどして、設楽町と共に国と調整を図った。

《実績》

支援実績額27,114千円

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

市町村、観光事業を目的とする一部事務組合、市町村が加入する観光展主催団体及び複数市町村又は複数市町村が加入する広域的観光推進組織が実施する、①観光施設の設置及びバリアフリー化等(多言語化を含む。)の改修整備事業、②観光展の開催事業、③広域的観光振興事業(観光資源調査・ニューツーリズム創出、広域的な情報発信、外国人向け情報発信及び受入体制整備、おもてなし研修、ボランティアガイド及び地域観光振興リーダーの育成等)に対して補助金を交付することで、観光振興を図った。

《実績》

交付件数:18件、交付実績額:57,967千円

【自然公園施設整備】(自然環境課)

伊良湖休暇村公園施設の園地整備及び東海自然歩道のトイレ等改修を実施した。

《実績》

- ▶ 伊良湖休暇村公園施設整備工事
- ▶ 茶臼山公園施設野営場修繕工事
- ▶ 東海自然歩道整備工事(新城、設楽、豊田工区)
- ▶ 東海自然歩道改修工事(瀬戸、犬山工区)

【文化財保存修理費補助金】(教育委員会生涯学習課文化財保護室)

国・県指定文化財の適切な維持管理のため、必要な保存修理費の一部を所有者に補助した。

《実績》

交付件数:61件、交付実績額:55,944千円

(12) 学習施設を活用した環境観光の推進

① AEL(あえる)ネットを活用したスタンプラリーの開催

【AEL ネットを活用したエコアクションの推進】(環境活動推進課)

県内の環境学習施設等で構成されている AEL ネットに加盟している施設や自治体が連携して環境学習スタンプラリーを実施した。

《実績》

実施施設数:160施設等(環境学習施設、団体、自治体)

② 環境学習施設の施設情報、講座・イベント情報等の発信

【もりの学舎】(環境活動推進課)

愛・地球博記念公園の環境学習施設「もりの学舎」及びその周辺フィールドにおいて、インタープリターによる自然体験や工作などの環境学習プログラムを実施した。

《実績》

- ▶ プログラム実施回数:もりのツアー(306回) 工作教室(190回)
- ▶ プログラム参加者数:もりのツアー(2,503人) 工作教室(2,479人)

(13) 自然公園の活用

① 地域の特性を生かした自然公園施設の整備

【自然公園施設整備】(自然環境課)

伊良湖休暇村公園施設の園地整備及び東海自然歩道のトイレ等改修を実施した。

《実績》

- 伊良湖休暇村公園施設整備工事
- 茶臼山公園施設野営場修繕工事
- 東海自然歩道整備工事(新城、設楽、豊田工区)
- 東海自然歩道改修工事(瀬戸、犬山工区)

②自然公園を活用したウォーキングなどのイベントの開催

【自然公園施設の利用促進】(自然環境課)

伊良湖休暇村公園施設で「アウトドアフェスタ」を、東海自然歩道で「歩こう大会」を実施した。

《実績》

- アウトドアフェスタ
 - ✓ 開催日:平成 28 年 9 月 25 日 ※休暇村伊良湖と共催
 - ✓ 内容:ウォークラリー、サンドアート体験、椰子の実ころがし大会等
 - ✓ 参加者数:850 人
- 歩こう大会
 - ✓ 開催日:平成 28 年 10 月 16 日
 - ✓ 内容:ウォーキング(犬山市内 12km)
 - ✓ 参加者数:140 人

(14) 県営都市公園の活用

①多くの集客を得ることができる公園施設の整備やイベントの開催

【愛・地球博記念公園でのイベント開催・実施】(公園緑地課)

愛・地球博の理念・成果を継承するイベントを県主催で継続するほか、40 件以上の持ち込みイベント実施を目標に誘致に取り組んだ。

《実績》

- 県主催
 - ✓ 愛・地球博開幕記念イベント「モリコロパーク秋まつり」
9 月 24 日～25 日(2 日間)、来園者数 15,900 人(合計)
 - ✓ 愛・地球博開幕記念イベント「モリコロパーク春まつり」
3 月 25 日～26 日(2 日間)、来園者数 15,700 人(合計)
- 持ち込みイベント
開催件数:144 件、来園者数:890,800 人(合計)

(15) 観光統計の整備

①観光に係る統計調査の実施

【あいち観光戦略実態調査】(観光振興課)

あいち観光戦略に基づく施策の実施状況及び目標値の達成状況を把握するため、アンケート及びヒアリングによる実態調査、分析調査を行った。また、中部国際空港において、訪日外国人旅行者の国別・地域別に聞き取りによる動向調査を行った。

【ICT を活用したマーケティング調査】(観光振興課)

携帯電話の電波情報を活用し、県内の観光地・施設のうち、50 拠点を訪れている人の属性等を調査したほか、GPS 情報を活用し、県内各地間の回遊状況を調査した。

【コンベンション・イベント状況調査】(国際観光コンベンション課)

日本政府観光局(JNTO)が集計する国際会議統計の資料とするとともに、今後のイベント・コンベンションの誘致関連施策の参考とするため、本県内で開催される全国規模または国際的規模のコンベンション・イベントについて、その開催実績を調査した。

戦略Ⅲ 観光交流拠点としての機能強化

(1) 広域観光の推進

① 昇龍道プロジェクトの推進

【昇龍道プロジェクトの推進】(国際観光コンベンション課)

広域観光推進組織の一員として昇龍道プロジェクトを推進するほか、本県が単独で実施する海外でのプロモーションや招請事業等においても、「昇龍道プロジェクト」等の広域観光の取組を紹介した。

② 産業観光周遊バスの運行

【愛知・岐阜連携産業観光推進協議会】(観光振興課)(再掲)

③ 近隣県と連携した広域観光の推進

【「日本忍者協議会」を通じた忍者観光の推進】(観光振興課)

日本固有の文化資産「忍者」を活用し、国や自治体、民間団体が連携して情報発信等を行い、海外・国内から誘客を促進する等、観光振興、文化振興、地域経済の活性化を図った。

《実績》

- 忍者 PR イベントの開催
- 「忍者の日」キャンペーン実施
- 広域周遊ルートの旅行商品化の促進
- 忍者に関するマーケティング調査等
- 定例会(年4回)
- 総会(年1回)

【産業観光スタンプラリーの実施】(観光振興課)(再掲)

【東海地区外国人観光客誘致促進協議会】(国際観光コンベンション課)(再掲)

【中部広域観光推進協議会】(国際観光コンベンション課)(再掲)

(2) 航空路線・クルーズ船の誘致促進

① エアポートセールス等による航空路線の誘致促進

【エアポートセールス】(航空対策課)

中部国際空港の就航路線の維持・拡充、利用促進を図るため、北米地域(米国)及びアジア地域(マレーシア・中国・ベトナム)の航空会社に対してエアポートセールスを実施した。

《実績》

- 北米地域

- ✓ アメリカン航空(ダラス便の就航を要望)
- アジア地域
 - ✓ 中国南方航空(広州直行便の復活を要望)
 - ✓ ベトナム航空(ホーチミン線の増便等を要望)
 - ⇒(17年1月4便から5便に増便、10月5便から7便に増便予定)
 - ✓ エアアジア X(クアラルンプール便の復活を要望)

②ポートセールス等によるクルーズ船の誘致促進

【クルーズ船の誘致】(国際観光コンベンション課)

先進港調査を実施するとともに、名古屋市及び名古屋港利用促進協議会と連携し、外航クルーズ船社等へのポートセールスを実施した。

《実績》

- 先進港調査
 - 平成 29 年 2 月、博多港を視察し調査
- ポートセールス
 - 上海(平成 28 年 10 月)及び米・フォートローダーダール(平成 29 年 3 月)で実施。

(3)道の駅を活用した観光振興

①愛知県「道の駅」推進調整会議による市町村支援

【推進調整会議の開催】(道路維持課)

道の駅に関する先進事例や支援制度の情報提供や、支援制度の活用、助言提案といった事業化への支援を行った。

《実績》

推進調整会議(ワーキング):1 回開催

②道の駅の利用促進

【設置者、駅長との意見交換】(道路維持課)

道の駅駅長会議などを通じて観光情報のPRのため、意見交換を行った。

《実績》

意見交換会:1 回開催

(4)交通拠点発の二次交通及び観光周遊コースの充実

①交通拠点発の二次交通の利便性向上

【鉄道事業者に対する利便性向上の働きかけ】(交通対策課)

県と JR 東海・名鉄の意見交換会において、利便性向上に係る項目を要望した。

②交通拠点発の観光周遊コースの整備促進

【着地型旅行商品コーディネーター育成講座の開催】(観光振興課)(再掲)

【地域旅行商品総合支援事業／東三河地域旅行商品総合支援事業】(観光振興課)(再掲)

【あいちふるさと名物発信事業】(文化芸術課)

地域資源である県内各地域の伝統的工芸品や特産品及び観光の振興に寄与することを目的

として、伝統的工芸品や特産品を広く効果的にPRするとともに、国民文化祭の来場者に、事業を観覧しながらより多くの市町村(会場)を周遊していただく取組としてスタンプラリーを、市町村等と連携して実施した。

《実績》

- 開催期間:平成 28 年 10 月 29 日～12 月 3 日
- スタンプラリー設置会場:107 か所
- スタンプラリー応募数:5, 156 通
- スタンプラリー当選者数:732 名

戦略Ⅳ MICE・スポーツ大会を通じた誘客推進

(1)MICE の誘致

①MICE 誘致のための PR・プロモーション

②愛知・名古屋 MICE 推進協議会への参画

【国際会議等の誘致】(国際観光コンベンション課)

名古屋市、名古屋観光コンベンションビューロー並びに当地域で MICE に関わる幅広いステークホルダーとともに設置した「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」を通じて、地域が一丸となって、政府系会議や大規模国際会議をはじめとする MICE 誘致に取り組んだ。

《実績》

- MICE セミナーの開催
「愛知・名古屋 MICE セミナー」
開催日:平成 28 年 10 月 28 日、会場:ホテル名古屋ガーデンパレス、参加者:87 名
- 国内 MICE 見本市への出展
「国際ミーティング・エキスポ(IME2016)」
開催日:平成 28 年 12 月 6 日・7 日、会場:パシフィコ横浜、商談件数:101 件
- 海外 MICE 見本市への出展
「IBTM World 2016」
開催日:平成 28 年 11 月 29 日～12 月 1 日、会場:スペイン・バルセロナ、商談件数:25 件
- 海外セミナー・商談会への参加
 - ✓ 韓国国際会議主催者セミナー
商談件数:6 件、セールスコール:3 件
 - ✓ シンガポール・マレーシアインセンティブ旅行セミナー
商談件数:41 件、セールスコール:5 件
 - ✓ 台湾インセンティブ旅行セミナー
商談件数:49 件
- 「愛知・名古屋 MICE 懇談会」の開催
開催日:平成 29 年 1 月 30 日、会場:ホテルグランドアーク半蔵門、参加者:113 名
- MICE 国内商談会・招請事業(JNTO 主催)への参加
 - ✓ 「VISIT JAPAN TRAVEL & MICE MART」
開催日:平成 28 年 9 月 21 日～23 日、会場:東京ビッグサイト、商談件数:26 件

- ✓ 「Meet Japan」
視察受入：平成 29 年 3 月 7 日～8 日、受入人数 2 名
商談会：平成 29 年 3 月 10 日、商談件数 6 件
- メディアを活用した MICE の情報発信
 - ✓ 海外 MICE 専門誌への PR 記事掲載(3 誌)
 - ✓ NHK 国際放送
 - ✓ 国内 MICE 専門誌(1 誌)
- 大規模 MICE への開催支援
国際会議「国際影響評価学会 (IAIA)」始め 7 件
- ギブアウェイの作成
 - ✓ 絵はがき 10,000 セット(5 枚 1 セット、パッケージ込)
 - ✓ 木升 550 個(無地 500 個、カラー 50 個)
- ガイドブックの作成
 - ✓ 「ミーティングプランナーズガイド」(時点修正・増刷) 日本語版 700 部、英語版 100 部
 - ✓ 「愛知・名古屋 MICE 施設ガイド」掲載施設:52 施設、数量:3,000 部
- インセンティブツアーに対する支援
主催者「ボストン・コンサルティング・グループ上海」始め 7 件

③MICE 誘致に係る補助制度の活用

【国際会議の開催支援】(国際観光コンベンション課)

国際会議主催者に対して、開催費の一部を補助するほか、県内市町村職員等を対象にしたセミナー・ワークショップを開催し、MICE 開催意義の周知、ノウハウの普及を図ることで、本県での開催を促進した。

《実績》

- あいち国際会議開催補助金
補助対象会議:国際メロポリス会議 2016 愛知・名古屋、補助額:8,000 千円
- 2016 年愛知県市町村観光担当者向け MICE セミナー
開催日:平成 28 年 12 月 15 日、会場:愛知県産業労働センター、参加者:67 名

④平成 31(2019)年度の第 57 回技能五輪全国大会の開催及び平成 32(2020)年度の第 58 回技能五輪全国大会・第 39 回全国アビリンピックの開催誘致

【技能五輪全国大会推進事業費】(産業人材育成課)

平成 31(2019)年度技能五輪全国大会基本計画を策定した。また、平成 32(2020)年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの本県開催が内定した。

⑤「技能五輪国際大会」の 2020 年代初頭の誘致に向けた研究

【技能五輪国際大会誘致調査費・技能五輪国際大会招致推進費】(産業人材育成課)

2020 年代初頭の技能五輪国際大会の招致に向けた調査・研究を行うとともに、2023(平成 35)年技能五輪国際大会基本構想を策定し、国に提出した。その結果、本県が同大会の国内開催候補地として内定した。

(2) 受入環境の整備

① 大規模展示場の整備に向けた取組

【愛知県国際展示場の整備】(地域政策課国際展示場準備室)

常滑市の空港島に展示面積 6 万平方メートルの愛知県国際展示場を整備するため、設計施工一括発注方式による基本設計を実施した。

【運営体制構築の検討】(地域政策課国際展示場準備室)

愛知県国際展示場の整備に伴い、実際の運営に必要な業務内容の精査や、運営計画を策定するなど、運営体制構築の検討を実施した。

【知事プロモーション及び利用促進プロジェクトチームによる展示会主催者等への働きかけの実施】(地域政策課国際展示場準備室)

展示会主催者等向けに、東京・名古屋の 2 会場で知事によるプロモーションを実施した。また、全庁をあげて利用促進のためのプロモーション活動を展開するため、大規模展示場利用促進プロジェクトチームを設置し、展示会主催者等への働きかけを実施した。さらに、展示会主催者等のニーズに応じていくため、事前利用申込の受付を開始した。

《実績》

➤ 東京会場

開催日:平成 28 年 6 月 10 日、場所:JPタワーホール&カンファレンス、参加者数:100 社・227 名

➤ 名古屋会場

開催日:平成 28 年 6 月 10 日、場所:名古屋マリオットアソシアホテル、参加者数:132 社・244 名

(3) スポーツ大会の招致・育成

① ラグビーワールドカップ 2019 の開催支援

【ラグビーワールドカップ 2019 の開催支援】(スポーツ振興課)

大会成功に向けた開催機運醸成と豊田スタジアムでの開催支援、地域の活性化を目的に設立した「ラグビーワールドカップ 2019 愛知・豊田開催支援委員会」による支援活動を実施した。

《実績》

➤ 国内プロモーションの実施(主催イベント 5 回、出展 20 回)

➤ 12 月 17 日:1000 日前イベントの開催

➤ 7 月 20 日～23 日:愛知・豊田ラグビーフェスタ 2016 の開催

② 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致及び合宿誘致

【東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致及び合宿誘致】(スポーツ振興課)

競技招致に係る情報収集、大会関係者等への働きかけ等を行った。また、合宿誘致に係る各市町村への取組支援(施設 PR 資料の作成、視察費用の補助等)を行った。

《実績》

施設 PR 資料の作成:26 施設、視察費用の補助:のべ 5 件

③ FIFA フットサルワールドカップ 2020 の招致と開催支援

【FIFA フットサルワールドカップ 2020 の招致】(スポーツ振興課)

国際親善大会及び招致機運を盛り上げるための広報事業を実施したほか、JFA(日本サッカー協会)が FIFA に提出する招致ブックの作成に協力した。

④アジア競技大会などの国際的スポーツ大会の招致検討

【第20回アジア競技大会の招致】(アジア競技大会推進課)

2026年に開催予定の第20回アジア競技大会の愛知・名古屋への招致活動に取り組んだ。また、9月25日の開催決定後は、開催都市契約締結に向けたOCA(アジア・オリンピック評議会)との協議、競技会場の調整、選手村の検討や開催決定周知のための広報・PRに取り組んだ

⑤マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知など、全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の育成

【マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知の開催】(スポーツ振興課)

「名古屋ウィメンズマラソン2017」、「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2017」、「名古屋シティマラソン2017」、「マラソンEXPO」といった競技・イベントを開催した。

《実績》

- ▶ 名古屋ウィメンズマラソン2017
開催日:平成29年3月12日、参加者数:19,857人
- ▶ 名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2017
開催日:平成29年3月12日、参加者数:11人
- ▶ 名古屋シティマラソン2017
開催日:平成29年3月12日、参加者数:17,645人
- ▶ マラソンEXPO
開催日:平成29年3月10~12日、来場者数:126,252人

【奥三河パワートレイルの開催支援】(スポーツ振興課)

国内外で活躍するプロトレイルランナー石川弘樹氏のプロデュースにより、愛知県最高峰の茶臼山をスタートし、急峻な山々や緑深い森、四谷千枚田などの田園風景を駆け抜け、湯谷温泉にゴールする総距離約70km、累積標高約4,000mの本格的な中距離トレイルランニング大会「奥三河パワートレイル」の開催を支援した。

《実績》

開催日:平成28年4月24日、開催場所:新城市・設楽町・豊根村、参加者:780人、観戦者数:約7,000人

【アイアンマン70.3セントレア知多半島ジャパンの開催支援】(スポーツ振興課)

WTC(World Triathlon Corporation)の公認により世界各地で開催されている「アイアンマン70.3シリーズ(スイム1.9キロ、バイク90.1キロ、ラン21.1キロの合計113.1キロ=70.3マイル)」の国内唯一の大会である「アイアンマン70.3セントレア知多半島ジャパン」の開催を支援した。

《実績》

開催期日:平成28年6月10日~6月12日(競技開催は6月12日)、開催場所:知多市・常滑市・半田市、参加者:1,395名/組(19カ国)、観戦者:約16,000人

【新城ラリーの開催支援】(スポーツ振興課)

奥三河地域への誘客拡大や特産品振興を通じた地域の活性化を図るため、「新城ラリー」の開催を支援した。

《実績》

開催期日:平成28年11月4日~11月6日(競技開催は11月5日~6日)、メイン会場:県営新城総合公園、出場台数:121台、観戦者:約53,000人

⑥あいちスポーツコミッションの運営によるスポーツ大会情報の収集・発信、スポーツ大会・合宿の招致、スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

【あいちスポーツコミッションの運営】(スポーツ振興課)

フリーマガジン「aispo!」の発行やWEBサイト・SNS「あいスポ」を通じたスポーツ大会情報等の発信により、大会やイベントを活かした地域活性化を促進した。

《実績》

- 「aispo!」の発行
発行回数:4回(6月、9月、12月、2月)、発行部数:各20,000部

(4)愛知芸術文化センターを活用した誘客

①愛知芸術文化センター(愛知県美術館、愛知県芸術劇場等)における芸術文化活動の展開

【国民文化祭の開催】(文化芸術課)

平成28年10月29日から12月3日の期間、文化庁との共催により、「第31回国民文化祭・あいち2016」を愛知芸術文化センターをはじめ県内各地で開催することを通じ、多数の出演者や関係者の来県を生み出し、本県の地域資源を活かした観光振興を推進した。

《実績》

- 会期:10月29日～12月3日(36日間)
- テーマ:「愛故知新」～伝統を「愛」しみ、新しきを「知」り～文化は動く
- 愛称:あいちものづくり王国 ゆめづくり祭典
- 来場者数:357,708人(参加者数(出演者、スタッフ等含む)906,894人)
- 開催地:愛知芸術文化センター始め愛知県内54市町村各会場

【あいちトリエンナーレ2016の開催】(文化芸術課トリエンナーレ推進室)

「あいちトリエンナーレ」は、3年に1度、愛知県で開催される国内最大級の国際的な現代アートの祭典であり、3回目の開催となる今回は、「創造しながら旅(キャラヴァン)を続ける人間」をテーマとした。過去最多となる38の国と地域から、多様なジャンルのアーティストが参加し、県内外からの誘客を図った。

《実績》

- 会期:8月11日～10月23日(74日間)
- テーマ:虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅
- 参加アーティスト数:119組
- 総来場者数:601,635人
- 経済波及効果:約63億円
- パブリシティ効果:33億円以上
- 主な会場:愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか(長者町会場、栄会場、名古屋駅会場)、豊橋市内のまちなか(PLAT会場、水上ビル会場、豊橋駅前大通会場)、岡崎市内のまちなか(東岡崎駅会場、康生会場、六供会場)

戦略Ⅴ 戦略的な観光ひとつくり

(1) 観光人材の育成

① 学校との連携・協働

【学生を対象とした表彰(アワード)の実施】(観光振興課)

大学や専門学校、高校及びその学生・生徒を巻き込んで観光を盛り上げ、キーパーソンを育成することを通じ、観光産業の振興に寄与するため、学生から観光振興に関する取組のアイデアを募集し、優れたものを表彰した。

《実績》

応募件数:23 件、応募件数内訳:県内高校 1 件(1 校)、県内大学 22 件(13 校)

【伝統文化等体験型情報発信事業】(文化芸術課)

地域の伝統文化をたやすことなく次の世代に引継ぎ、地域の活性化につなげていくことを目的に、県内の若年層(大学生等)に伝統文化や郷土芸能を体験できる機会を提供し、その体験した内容を SNS 等で情報発信してもらうことで、本物の文化に触れ、魅力を感じ、文化に対する関心を高めてもらうとともに、大切にする意識の醸成を図る取組を文化団体や大学等と連携しながら実施した。

《実績》

参加学生数:22 人(5 大学)、協力文化団体数(体験文化団体数):5 団体、ツイッターのツイート数:900、フォロー数:625

② 地域や企業で活躍する観光人材の育成

【着地型旅行商品コーディネーター育成講座の開催】(観光振興課)(再掲)

【あいち観光まちづくりゼミの実施】(観光振興課)

自然、文化、歴史、産業など、地域のあらゆる資源を生かし、地域が主体となった活力あるまちづくりを実現するため、「あいち観光まちづくりゼミ」を実施した。地域の意欲ある人材をより多く発掘・育成するとともに、地域一体となった観光による地域振興のさらなる推進を図った。また、県内各地から集まったゼミ生相互の交流を促進し、各地の取組情報を交換することによって、県下の各地域で取り組む人材の横の連携を醸成し、人材、ひいては観光力の底上げを図った。

《実績》

ゼミ受講生:50 名(17 市町村)

【フォーラムの開催】(観光振興課)

県民全体が愛知の観光を盛り上げていこうという機運の醸成を図るため、フォーラムを開催し、観光振興に関する基調講演や、学生を対象にしたアワードの優秀提案発表を実施するなどして、観光振興のキーパーソン育成を促進した。

《実績》

開催日:平成 29 年 3 月 15 日、会場:愛知大学、参加者:180 名

【地域観光ブランド推進事業】(観光振興課)

観光に携わる県内の市町村職員、観光協会、観光関係者、NPO、ボランティアガイド等から広く参加者を募り、地域振興のための各地域の観光への取組や、今後の課題等について発表を行い、観光による地域振興に対する取組機運を高めるとともに、県民への情報提供を行った。

《実績》

開催日:平成 29 年 3 月 7 日、参加者数:57 名、内容:事例発表、識者講演、地域活動報告

(2) 地域自らによる観光マネジメント力の強化

① 日本版 DMO の推進

② 観光関連団体の機能強化

【**県域連携 DMO 形成促進事業**】(観光振興課)

ICT を活用したマーケティング調査や県内観光地等の評価情報集積システムの構築、着地型旅行商品コーディネーターの育成を通じて、県域連携 DMO のあり方を検討し、(一社)愛知県観光協会を県域連携 DMO として機能強化し、観光庁に候補法人としての登録を促すこととした。

(3) 観光ボランティアガイド等を通じた県民によるおもてなしの向上

① 観光ボランティアガイドの育成

【**産業観光あないびと育成事業**】(観光振興課)

観光ボランティアガイドを始めとする地域で活躍している方々を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得していただき、地域活動に活かしてもらおうとともに、産業観光を PR した。また、全県組織「あいち観光ボランティアガイドの会」の運営を支援した。

《実績》

開催日:平成 29 年 1 月 12 日、内容:瀬戸蔵ミュージアム等の資料館及び窯元見学・創作体験等、参加者:35 名

(4) 県民による魅力再発見の推進

② 県民との協働による本県の観光 PR・プロモーション

【**あいち観光アイデアソンの開催**】(観光振興課)

観光ボランティアガイド等、観光分野で活躍する県民と協働して、本県の隠れた観光資源の発掘・磨き上げを行った。

《実績》

開催日:平成 28 年 12 月 16 日、参加者:28 名

③ 学校教育における地域の自然、歴史及び文化の学習の実施

【**観光や地域振興をテーマにした教育課程の実施**】(教育委員会高等学校教育課)

県立古知野高等学校の「観光ビジネスコース」や一部の県立商業高校において、観光や地域振興に関する教育を推進した。

《実績》

「観光ビジネスコース」生徒数:37 人(平成 28 年度)

戦略Ⅵ 民間活力の活用

(1) 観光関連事業者との連携強化

① 観光関連事業者との情報共有、協働の強化

【県内観光関係者連携推進事業】(観光振興課)

本県に送客する主体(旅行会社、バス会社、マスコミ等)に向けた情報発信を機動的に行え、あわせて県内の観光関係者が有益な情報収集・交換が行えるウェブサイトを構築した。

《実績》

- Aichi Now Biz
内容: 県内観光関係者向けサイト、開設日: 平成 29 年 3 月 17 日
- Aichi Now Pro
内容: 旅行会社・メディア向けサイト、開設日: 平成 29 年 3 月 17 日

② 民間プロジェクトとの連携強化

【愛知デスティネーションキャンペーンの実施準備】(観光振興課)(再掲)

(2) 企業、NPO、市民活動、大学、留学生などとの連携・協働

① 民間企業(観光事業者以外)との連携・協働

【ハート・オブ・ジャパンあいち応援企業】(観光振興課)

「ハート・オブ・ジャパンあいち応援企業」を募り、本県の観光ポスターの掲示やリーフレットの配布等により、あいちの魅力発信に協力していただいた。

《実績》

応援企業数: 102 社(平成 29 年 3 月 31 日現在)

【伝統文化等体験型情報発信事業】(文化芸術課)(再掲)

② NPO・市民活動との連携・協働

【NPO と行政のテーマ別意見交換会】(観光振興課)

「目指そう! あいちの『観光県化』~魅力的な観光資源とは~」をテーマに、NPO と行政の意見交換会を実施した。

《実績》

開催日: 平成 29 年 1 月 19 日、参加者: 行政 8 人、NPO 6 人

⑤ 県人会を通じた観光情報の発信

【県人会を通じた県政 PR の推進】(県民総務課)

毎年開催される各県人会総会や県人会と知事の懇談会の機会を利用して、観光情報・県政情報の PR や県政への協力依頼を行った。また、各県人会が推薦する者に「愛知ふるさと大使」を委嘱し、出身県及び現在住んでいる県等において、積極的に観光情報の発信や愛知県政 PR 活動を実施していただいた。

《実績》

- 愛知ふるさと大使への県政 PR 資料送付(113 名、年 2 回)
- 県人会総会での県政資料配布・県政への協力依頼(41 県人会、資料配布は各会 3 種類程度)

- 県人会と知事との懇談会での県政への協力依頼・資料配布(平成 28 年 10 月 31 日開催、出席者数 84 人)

(3) 有料道路コンセッションを通じた観光振興

① 有料道路コンセッションの実施

【有料道路コンセッションの実施】(道路建設課有料道路室)

有識者等で構成される民間事業者選定委員会を経て愛知県道路公社と民間事業者が実施契約を締結し、10 月 1 日より民間事業者による運営を開始した。

《実績》

知多半島道路の大府PA・阿久比PAにおいて、民間事業者が知多半島観光圏協議会の後援の下、沿線自治体・JA あいち知多や地元企業・団体等と連携した地域製品の PR イベントを 9 回開催した。

(4) 県営都市公園における民間活力を活用した新たな魅力の創出

① 民間活力を活用した公園施設の設置

【民間活力を活用した公園施設の設置】(公園緑地課公園利活用推進室)

大高緑地において、民間事業者により「ディノアドベンチャー名古屋」が開業した。また、県営都市公園民間活力導入検討調査委託を実施し、新城総合公園において民間活力を活用した新たな公園施設を設置、管理運営する事業者を公募した。

《実績》

- ディノアドベンチャー名古屋

開業日:平成 28 年 7 月 1 日、来園者数:15 万人を突破(平成 29 年 5 月)

- 新城総合公園における公募

募集期間:平成 29 年 2 月 9 日から平成 29 年 3 月 10 日まで、応募件数:1件

3 平成 29 年度の主要な観光振興施策

平成 29 年度に実施している、「あいち観光戦略」に掲げる重点プロジェクトに係る主な施策は、以下のとおりである。

戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化

(1) 情報発信の充実・強化

① 海外観光説明会・商談会開催

② 海外プロモーション実施

【アジア大商談会の開催】(国際観光コンベンション課)

訪日旅行客数の多いアジア 3 ヶ国・地域(韓国、台湾、タイ)の旅行会社の訪日旅行担当幹部やメディア関係者を招請し、県内視察や、県内観光事業者との商談会・交流会等の行事と通じて旅行商品造成や情報発信を働きかけ、本県の知名度向上と本県への一層の誘客促進を図る。

【台湾観光プロモーション】(国際観光コンベンション課)

台湾において国際旅行博出展及び旅行会社等へのセールススクールを実施し、一層の誘客促進を図る。さらに、知事自ら渡航し、トッププロモーションを行う。

【インバウンド需要に対する県産農林水産物等の PR】(食育消費流通課)

「アジア大商談会」において、県産農林水産物等を使用したレストランショー等を実施し、愛知の食と農を PR する。

【各種展示会への出展】(産業立地通商課)

中国・上海及びタイ・バンコクの海外産業情報センターが、現地で開催される各種展示会に出展して本県の魅力を PR することで、外国人観光客の誘致を図る。

【各種展示会への出展】(産業立地通商課)

アセアンへの参入・拡大を目指す県内企業に対し本県が展示会等への出展支援を実施する際に、愛知県の観光も併せて PR し、外国人観光客の誘致を図る。

⑤ 各種広報媒体による情報発信

【FIT 向けメディアを通じた情報発信】(国際観光コンベンション課)

米国に拠点を置く世界的に有力な旅行口コミサイトである「トリップアドバイザー」を活用し、日本の旅行情報を閲覧している英語圏の FIT 層に対し、JR 東海が運営するサイト「Japan Highlights Travel」へ誘導するバナー広告を出稿する。また、京都を中心とする関西を訪れた外国人観光客を本県へ誘客するため、フリーマガジン等に広告を出稿する。

⑥ SNS を活用した情報発信

【ブロガー招請メディアタイアップ】(国際観光コンベンション課)

中国で人気のブロガーを招請し、情報発信を行うことで、中国人に対する Aichi Now 及び SNS の内容の充実及び知名度向上を図る。あわせて、旅行雑誌にブロガーの様子を取材してもらい、ウェイボや雑誌への露出を通じて、一層の情報発信を行う。

(1) 武将観光・産業観光の推進

① 戦国武将やゆかりの史跡、忍者等を生かした武将観光の推進

② 武将観光イベントの開催

【武将観光の推進】(観光振興課)

本県には、信長、秀吉、家康の郷土の三英傑をはじめ、数多くの戦国武将を輩出しており、県内には、戦国武将ゆかりの史跡や合戦を再現する祭りも数多く存在している。そこで、全国のサムライや忍者が集結する集客イベント「サムライ・ニンジャフェスティバル」を開催するとともに、引き続き、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」により「武将のふるさと愛知」の魅力を発信することで、国内外からの観光客の誘致を図る。

【東三河「新しい人の流れ」創出事業】(東三河総局企画調整課)

東三河は、鳳来寺山、長篠・設楽原合戦場など徳川家康ゆかりの史跡が多い。また、平城とは異なる魅力を持つ個性的な山城の遺構が随所に点在している。こうした東三河の独自性を活かした、武将観光を展開する。

③ あいち航空ミュージアムの整備

【あいち航空ミュージアムの整備】(航空対策課)

「次代の航空機産業を担う人材育成の推進」等のコンセプトに基づき、「あいち航空ミュージアム」の整備を進める。

④ 武将観光に係る資源発掘と磨き上げ

⑤ 武将観光施設の連携強化

⑥ 武将観光に係るPR・プロモーション

⑦ 産業観光に係る資源発掘と磨き上げ

⑧ 産業観光施設の連携強化

⑨ 産業観光に係るPR・プロモーション

⑩ 産業観光イベントの実施

【愛知・岐阜広域観光モニターバスツアー】(観光振興課)

愛知・岐阜広域観光推進協議会において、愛知県地域・岐阜県地域に存在する産業観光施設及び武将観光施設を巡るモニターバスツアーを実施することを通じ、産業観光及び武将観光の資源発掘と周遊化を図り、各施設の入込客の増加と交流人口の拡大を図る。

【「見にトリップ／いくさトリップ」の作成】(観光振興課)

愛知・岐阜広域観光推進協議会において、産業観光施設及び武将観光施設を紹介するパンフレット「見にトリップ／いくさトリップ」を作成するとともに、掲載施設(一部のぞく)を巡るスタンプラリーを実施することで周遊観光を促進する。

【「リニモ」の産業観光資源としての利活用】(交通対策課)

日本で唯一の磁気浮上式リニアモーターカー「リニモ」の情報発信をするため、モニターツアー(プレスツアー)や沿線施設を周遊するイベント(謎解きイベント)を実施する。

(2) 伝統・文化に触れる観光の推進

① 山車まつり文化の PR・プロモーション

【地域伝統芸能全国大会の開催準備】(観光振興課)

平成 30 年秋、本県内で開催する地域伝統芸能全国大会の準備を進め、山車まつり文化を含む本県の多様な伝統芸能に関する情報発信の好機とする。

【あいち山車まつり活性化事業】(教育委員会生涯学習課文化財保護室)

「あいち山車まつり日本一協議会」における、①総会・研修会の開催、②シンポジウムの開催、③公開イベントの開催、④ホームページの制作、⑤あいち山車文化魅力発見講座の実施などの取組を通じて、あいちの山車まつりの保存・継承及び振興を図るとともに、その魅力を県内外へ発信する。

(3) グルメ・食文化のブランド化

① なごやめし普及促進協議会を通じた「なごやめし」の普及促進

【なごやめしの普及促進】(観光振興課)

名古屋市等とともに設立した「なごやめし普及促進協議会」を通じ、なごやめしの魅力を国内外に向けて発信することで、本県への一層の誘客促進を図る。具体的には、PR ツール作成やホームページ、SNS、首都圏でのイベント出展等を通じて魅力発信を行う。

② ご当地グルメや食文化の PR・プロモーション

③ 農林水産物の PR・プロモーション

【観光物産展の開催】(観光振興課)

平成 27 年 4 月に設置した首都圏プロモーション推進本部のもと、関係部局が連携して首都圏において観光物産展を開催するほか、関西圏でも大型観光キャンペーンと連携して、本県の観光・物産の情報を発信する。また、観光プロモーションサイト「こつてり愛知 de 首都圏」及びフェイスブックの効果的な運用、及び観光 PR キャラクター「ひでっち」を活用した PR 資材の作成・配布により、首都圏在住者に向けて愛知の魅力を発信し、誘客促進を図る。

(4) 着地型観光の推進

① 着地型観光の商品化支援

② 着地型観光商品の販売促進支援

【着地型旅行商品コーディネーター育成講座】(観光振興課)

地域の魅力を活かし、地域の稼ぐ力を向上させるためには、地域の人材自らが旅行商品を企画し、販売方法を考えて、実行していくことが求められる。また、平成 28 年度に実施した本講座の受講生アンケートからは、より具体的に販売につながる講義内容と広範な人脈づくりを求める声が多かった。そこで、平成 29 年度は、特に販売面に焦点を当て、必要な知識・技術習得の場及び人的ネットワーク作りの場を提供することを通じ、着地型旅行商品の造成・販売を促進する。

【地域旅行商品総合支援事業】(観光振興課)

地域の魅力ある観光資源を組み合わせ、新たな着地型旅行商品として造成した商品を、全国販売の展開が可能な旅行会社の旅行商品として販売するため、旅行商品の販売管理と着地型旅行商品販売サイト「VISIT 愛知県」の運営を委託する。

(5) 情報発信の充実・強化

- ① 着地型観光の商品化支援
- ② 着地型観光商品の販売促進支援

【愛知県大型観光キャンペーン】(観光振興課)

JRグループ6社及び協賛会社と地元がタイアップして実施する「デスティネーションキャンペーン(DC)」を核に、本県への観光客の大幅増加及び定着化を目的として、全国規模の観光キャンペーンを展開する。平成29年度は、プレDCとして、全国宣伝販売促進会議及びエクスカージョン等を実施する。

③ 動画による情報発信

【観光PRキャラクター事業】(観光振興課)

俳優等、本県ゆかりのキャラクターを起用し、話題を呼ぶウェブ動画や特設ウェブサイト、ポスターを制作・公開することにより多くの人々を惹きつけ、それらの人々に本県ならではの特色ある「モノズゴ」な観光資源を訴求することで、本県の観光地としての認知度向上を促進する。

戦略Ⅲ 観光交流拠点としての機能強化

(1) 広域観光の推進

① 昇龍道プロジェクトの推進

【昇龍道プロジェクトの推進】(国際観光コンベンション課)

広域観光推進組織の一員として昇龍道プロジェクトを推進するほか、本県が単独で実施する海外でのプロモーションや招請事業等においても、「昇龍道プロジェクト」等の広域観光の取組を紹介する。

戦略Ⅳ MICE・スポーツ大会を通じた誘客推進

(1) MICE の誘致

- ① MICE 誘致のための PR・プロモーション
- ② 愛知・名古屋 MICE 推進協議会への参画

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

名古屋市、名古屋観光コンベンションビューロー並びに当地域で MICE に関わる幅広いステークホルダーとともに設置した「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」を通じて、地域が一丸となって、政府系会議や大規模国際会議をはじめとする MICE 誘致に取り組む。

③MICE 誘致に係る補助制度の活用

【国際会議の開催支援】(国際観光コンベンション課)

国際会議主催者に対して、開催費の一部を補助するほか、県内市町村職員等を対象にしたセミナー・ワークショップを開催し、MICE 開催意義の周知、ノウハウの普及を図ることで、本県での開催を促進する。

④平成 31(2019)年度の第 57 回技能五輪全国大会の開催及び平成 32(2020)年度の第 58 回技能五輪全国大会・第 39 回全国アビリンピックの開催誘致

【技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会開催準備費】(産業人材育成課)

推進協議会を設立し、開催に向けた運営や選手の育成強化、機運醸成のための啓発イベントを実施する。また、2020(平成 32)年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの基本計画を策定する。

⑤「技能五輪国際大会」の 2020 年代初頭の誘致に向けた研究

【技能五輪国際大会招致推進費】(産業人材育成課)

技能五輪国際大会の調査や経済界等との連携した招致活動を実施する。

(2) 受入環境の整備

①大規模展示場の整備に向けた取組

【愛知県国際展示場の整備】(地域政策課国際展示場準備室)

設計施工一括発注方式による実施設計・建築工事を実施する。

【コンセッション方式による運営事業者の選定】(地域政策課国際展示場準備室)

民間事業者のノウハウやアイデア等を活用するため、PFI法に基づく公共施設等運営権方式(コンセッション方式)を導入し、運営事業者の選定に係る業務を実施する。

【展示会主催者等に向けた広報及び営業活動】(地域政策課国際展示場準備室)

国内外の展示会需要を取り込むため、展示会主催者等に向けた広報及び営業活動を実施する。

(3) スポーツ大会の招致・育成

①ラグビーワールドカップ 2019 の開催支援

【ラグビーワールドカップ 2019 の開催支援】(スポーツ振興課)

開催支援の活動として、ファンゾーン運営基本計画、交通輸送基本計画(交通案内・整理、駐車場対策等)を策定する。また、愛知・豊田ラグビーフェスタ 2017、ジャパンラグビートップリーグの豊田スタジアムでの試合開催時の盛り上げ、愛知県内・豊田市内でのスポーツイベントを始めとする各種イベント等での PR、各種大会情報発表に連動した広報展開(都市装飾等)を実施する。

②2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致及び合宿誘致

【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技招致及び合宿誘致】(スポーツ振興課)
競技招致に係る情報収集を行う。また、合宿誘致に係る各市町村への取組支援(施設PR資料の作成、視察費用の補助等)を行う。

③FIFAフットサルワールドカップ2020の招致と開催支援

【FIFAフットサルワールドカップ2020の招致】(スポーツ振興課)

招致機運を醸成するための事業を実施するほか、開催国決定に向けて、JFA(日本サッカー協会)と協力して、引き続き招致活動を実施する。

④アジア競技大会などの国際的スポーツ大会の招致検討

【第20回アジア競技大会の開催準備】(アジア競技大会推進課)

第20回アジア競技大会の開催(2026年)に向け、開催都市である本県と名古屋市が連携し、主催者であるOCA(アジア・オリンピック評議会)をはじめ、JOC(日本オリンピック委員会)、各競技団体、関係市町村等の関係機関と調整を図りながら、開催準備を進める。

戦略Ⅴ 戦略的な観光ひとつづくり

(1)観光人材の育成

①学校との連携・協働

【学生を対象とした表彰(アワード)の実施】(観光振興課)

大学や専門学校、高校及びその学生・生徒を巻き込んで観光を盛り上げ、キーパーソンを育成することを通じ、観光産業の振興に寄与するため、学生から観光振興に関する取組のアイデアを募集し、優れたものを表彰する。

【伝統文化体験・情報発信事業】(文化芸術課)

「第31回国民文化祭・あいち2016」の成果を継承し、地域の伝統文化をたやすくことなく次の世代に引継ぎ、地域の活性化につなげていくことを目的に、県内の若者(大学生等)に伝統文化や郷土芸能を体験できる機会を提供し、地域の伝統文化等を守り継承する意識の醸成を図るとともに、事業の成果をSNS等を活用し情報発信することにより、本県の伝統文化の魅力等を県内外に広く発信し、地域の活性化につなげる取組を、文化団体や大学等の協力を得ながら実施する。

②地域や企業で活躍する観光人材の育成

【着地型旅行商品コーディネーター育成講座】(観光振興課)(再掲)

【観光まちづくりゼミの実施】(観光振興課)

自然、文化、歴史、産業など、地域のあらゆる資源を生かし、地域が主体となった活力あるまちづくりを実現するため、「あいち観光まちづくりゼミ」を実施する。地域の意欲ある人材をより多く発掘・育成するとともに、地域一体となった観光による地域振興のさらなる推進を図る。また、県内各地から集まったゼミ生相互の交流を促進し、各地の取組情報を交換することによって、県下の各地域で取り組む人材の横の連携を醸成し、人材、ひいては観光力の底上げを図る。

(2) 地域自らによる観光マネジメント力の強化

① 日本版 DMO の推進

② 観光関連団体の機能強化

【あいち版 DMO の推進】(観光振興課)

平成 28 年度事業の成果を踏まえ、(一社)愛知県観光協会の機能強化を促進し、同協会の日本版 DMO 候補法人への登録を支援する。また、市町村の DMO 設立の動きを支援する取組を行う。

戦略Ⅵ 民間活力の活用

(1) 観光関連事業者との連携強化

① 観光関連事業者との情報共有、協働の強化

【Aichi Now Biz / Aichi Now Pro の運営】(観光振興課)

愛知の公式観光サイト「Aichi Now」のサブサイトとして、県内観光関係者向けの情報を発信する「Aichi Now BIZ」と、旅行会社やメディアなど送客主体向けの情報を発信する「Aichi Now PRO」の 2 サイトを(一社)愛知県観光協会とともに運営する。

② 民間プロジェクトとの連携強化

【愛知県大型観光キャンペーン】(観光振興課)(再掲)

(参考)あいち観光戦略推進委員会

愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の平成28年度の実施状況に関する議会への報告及び公表に当たり、平成29年9月20日(水)に、下表の委員で構成する「あいち観光戦略推進委員会」を開催し、当該実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・役職	出欠
岩田 仁志	一般社団法人日本旅行業協会 中部事務局 事務局長	出席
◎大澤 健	国立大学法人和歌山大学経済学部 教授	出席
クリス・グレン	有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役	出席
近藤 善紀	名古屋市観光交流局観光交流部長	欠席
摂津 輝彦	一般社団法人日本ホテル協会 中部支部 事務局長	出席
田尾 大介	株式会社ツーリズムデザイナーズ 代表取締役	出席
田並 一彦	一般社団法人全国旅行業協会 愛知県支部 事務局長	出席
西村 哲治	公益社団法人日本観光振興協会 中部支部 事務局長	出席
山本 勝子	日本福祉大学 知多半島総合研究所 顧問	出席
○横山 陽二	名古屋外国語大学現代国際学部国際教養学科 准教授	出席
渡邊 幸一	愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合 理事長	出席

◎…委員長、○…副委員長

平成 29 年度版
あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況
(平成 28 年度年次報告書)
平成 29 年 10 月発行

作成・発行
愛知県振興部観光局観光振興課
〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電 話 052-954-6353

F A X 052-973-3584

メール kanko@pref.aichi.lg.jp

ウェブ <http://www.pref.aichi.jp/kanko/>